

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				H-K01	
授業科目名			授業形態		学科・コース
英会話 I			講義		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	15	1	紅林 江身子
授業の目的・到達目標					
近年、ネイティブ講師を交え簡単な英語表現を経験させる園などが増えつつある中で、そのことを念頭におきつつ、保育士の立ち位置や役割を踏まえ、保育士各々の英語力アップを図る。					
授業の概要					
コミュニケーションの必要性重要性を個々が再認識し、英語力をつけた際の可能性を考える。中学レベルの英語文法の復習、フォニックスの学習。保育の為の基礎英語力をつける。					
成績評価の方法					
期末試験（文法、フレーズ、単語など）による評価。 学習意欲の評価として <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力での評価。 （日本語でも自分の意見や考えアイデアなどを出せる。他の生徒とシェアできる） ・英語でのコミュニケーション能力での評価。 （拙い英語でも、相手に伝えようとする姿勢や、聴こうとする力） ・授業態度や、英語学習への意欲や積極性への評価 を加味する					期末試験 50% 課題 20% 学習意欲 30%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・ Happy English for childcare (KINSEIDO) ・ 中学3年分をたった7日で総復習 (学研プラス) 					
授業内容・授業計画					
1、中学英語復習、フォニックス			時間数	時間数	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 文の構成と語順 			14		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 時制（現在形、進行形、過去形など） ・ 文の種類（肯定文、否定文、疑問文など） ・ 前置詞、接続詞など 			2		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)					年度	2020年度
時間数は45分換算					科目コード	H-K02
授業科目名			授業形態		学科・コース	
健康科学			講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	15	1	保育者(経験10年超)	
授業の目的・到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・自己の健康づくり及び幼児から高齢者までの健康づくりの指導ができる。 ・期末試験の設題にもなっている8項目の内容を理解し、説明することができる。 ・幼児期の運動能力の特徴を理解し、運動と健康の在り方を追求する。 						
授業の概要						
<p>テキストを中心に授業を展開し、授業内容の設題8項目に対して科学的な健康づくりを学んでいく。また、幼児期運動指針の内容にも触れ、MKS 幼児運動能力検査の事例を通して幼児期の運動と健康の在り方について追及していく。</p>						
成績評価の方法						
<p>期末試験はテキストの内容を理解した上で、設題に対する自らの考察や課題提起、経験等を記述した内容の充実度に評価の重点を置く。</p> <p>レポート課題は、収集した情報を活用しながら自らのスポーツに対する考え方に繋いでいく展開力を評価する。</p>					期末試験	60%
					レポート	20%
					学習態度	20%
使用テキスト・教材						
<p>テキスト「生涯スポーツ・健康科学」(近畿大学九州短期大学)</p> <p>幼児期運動指針策定委員会「幼児期運動指針ガイドブック」(文部科学省) ※プリントを配布</p> <p>「幼児期における運動発達と運動遊びの指導」(杉原隆、河邊貴子、ミネルヴァ書房) ※プリントを配布</p>						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. スポーツの概念			2	6. 幼児期運動指針について		2
2. 社会生活の変化とスポーツ			2	7. 幼児期の運動能力と測定方法 (MKS 幼児運動能力検査)		2
3. スポーツ参加の現状と課題			2	8. 生活におけるトレーニング		2
4. 健康の概念			2			
5. 健康・体力と運動			2			
その他				関連科目		
				生涯スポーツ		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	H-K03
授業科目名		授業形態		学科・コース	
情報処理入門 I		講義・演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	15	1	深澤 みほ
授業の目的・到達目標					
保育・教育の分野でICTのスムーズな活用を行うために、コンピュータのデータ表現、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、セキュリティについて理解できるようになる。					
授業の概要					
情報リテラシー I で学んだことを基礎に、ICTの今後の活用について学ぶ。 また、WORDのさらに有効な活用方法について演習する。					
成績評価の方法					
授業内での課題と参加度(学習意欲)を総合的に評価する。				課題	70%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
情報処理入門 (津森 伸一 近畿大学九州短期大学)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1 情報処理の基礎		2	7 タブレットを活用した		2
1-1 情報とは			アプリケーションの実例		
1-2 データの表現方法			8 アプリケーションを活用した		2
2 ネットワークの利用		2	発表		
2-1 教育分野でのネットワークの活用について					
2-2 メールを活用するには					
3 ネットワーク上のマナー		2			
3-1 マナーを活用してみよう					
4 現在のICTの活用		2			
4-1 どのように活用されているか 調べ学習					
5 ICTの活用について発表		2			
6 ネットワーク上でのセキュリティー		2			
その他			関連科目		
			情報リテラシー I・II・III 情報処理入門 IS		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	H-K04
授業科目名			授業形態	学科・コース	
日本国憲法			講義	こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	堀 保彦
授業の目的・到達目標					
憲法を体系的に修得するとともに、現代社会における憲法問題について自ら主体的に考察し、自分の考えを具体的に述べることができるようになることを、本授業の目標とします					
授業の概要					
日本国憲法は、国民の自由と権利を守り、自由で公正な社会を築くことを目指す法です。本授業では、日本国憲法の国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の基本原則とそれを実現するための統治機構を概説し、私たちと憲法の関わりについて考えます。最終回の授業で現代社会における憲法の問題点についてプレゼンテーションをしていただきます。					
成績評価の方法					
毎回の授業で提示する課題への取り組み				期末試験	40%
期末試験				課題	40%
学習意欲 3項目を総合した点数で評価する				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
教科書：『日本国憲法』下村孝（近畿大学九州短期大学通信教育部） 2015年改訂版					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 憲法とは何か			2	8. 法の下での平等	
2. 明治憲法から日本国憲法へ			2	9. 精神的自由権	
3. 天皇主権から国民主権へ			2	10. 表現の自由	
4. 象徴天皇制・天皇の国事行為			2	11. 経済的自由権	
5. 平和主義			2	12. 社会権	
6. 基本的人権総論			2	13. 人身の自由、参政権	
7. 幸福追求権			2	14. 統治機構の原理、議会制度・ 権力分立	
				15. プレゼンテーション（現代社会における憲法の問題点について）	
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	H-K05
授業科目名			授業形態		学科・コース
情報リテラシー I			演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	深澤 みほ
授業の目的・到達目標					
タイピングの基礎としてWP検定を受験する。Word・Excelの簡単な基本操作ができるようになる。					
授業の概要					
パソコンの基本的な操作を学ぶ。効率的なタイピングの方法を練習し、WP検定の対策を実施する。					
成績評価の方法					
課題、学習意欲を総合的に評価する。					課題 70% 学習意欲 30%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・30時間でマスターoffice2016 実教出版 ・ワープロ検定対策テキスト 日本情報処理協会 					
授業内容・授業計画					
1. Wordの基本操作			時間数	3. WP検定対策	
1-1 Wordとは・基本操作			2		
1-2 ページ設定			2		
1-3 文章の作成 (ビジネス文書とは)			4		
1-4 表を活用した文章の作成			2		
2. Excelの基本操作					
2-1 Excelとは・基本操作			2		
2-2 基本的なワークシート編集			4		
2-3 関数を使った計算式			4		
				時間数 10	
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。			情報リテラシーII・III 情報処理入門I 情報処理入門IS		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	H-K06
授業科目名		授業形態		学科・コース	
情報リテラシーⅡ		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	深澤 みほ
授業の目的・到達目標					
保育・教育分野でどのようにIT・ICTが活用されているか、最新技術を理解することが出来る。 また、実際に活用されている「保育計画表」や「クラスだより」がWORDにて作成できるようになる。					
授業の概要					
情報リテラシーⅠで学んだことを基礎に、WORDのさらに有効な活用方法について学ぶ。 現場で使われているシステムに触れ、どのように活用がされているか知ることが出来る。					
成績評価の方法					
授業内での課題と参加態度(学習意欲)を総合的に評価する。					課題 70% 学習意欲 30%
使用テキスト・教材					
MOS WORD 対策テキスト&問題集 (FOM出版)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 表作成・復習(自己紹介) パソコンの状態確認	4	8. 月案・週案			2
2. 季節の歌 一覧	4	9. 遠足のしおり(課題) 上野動物園への遠足			2
3. 園たより	2				
4. 保育現場でのICT利用(デモ含む)	4				
5. 指導案 (6月15日~6月26日保育実習)	4				
6. 保健だより	4				
7. 発表会(プログラム)	4				
その他		関連科目			
		情報リテラシーⅠ・Ⅲ 情報処理入門Ⅰ・Ⅱ			

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				H-K10	
授業科目名			授業形態		学科・コース
ボランティア活動			講義・その他		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	2	深澤 みほ
授業の目的・到達目標					
ボランティアを通じて、校内では学べない人とのコミュニケーションについて学びスムーズなコミュニケーションが取れるようになる。					
授業の概要					
乳幼児をはじめとする子どもとその保護者と触れ合うことで、今後展開される保育・教育実習に向けてのプレ実習のような役割を果たす。 ボランティア活動の事前事後指導として、ボランティア講習会への参加また報告書の提出を行う。 また、「るくる」や「子育て支援センター」などへのボランティア参加を行う。					
成績評価の方法					
ボランティア報告会(期末試験)と各ボランティア時の事前事後指導の報告書(課題)を評価の対象とする。また、ボランティアへの参加状況や授業態度を学習意欲として加味する。				期末試験	50%
				課題	30%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. ボランティア講習会			2		
2. 事前指導			2		
3. ボランティア調査・ 子育て支援センターについて			2		
4. ボランティア学生調査票作成			2		
5. るくる・子育て支援センター ボランティア			6		
6. 子育て支援センターボランティア			8		
7. ボランティア活動参加			4		
8. ボランティア報告会			4		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				H-K11	
授業科目名			授業形態		学科・コース
ペン字			演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必須	30	1	深澤 みほ
授業の目的・到達目標					
<p>保育者として、正しい字を理解し 伝えられるようにする。 板書など人前で、伝わる字を書けるようにする。 POP 広告など、掲示物にも対応できるようにする。</p>					
授業の概要					
<p>字を正しく理解し、丁寧に書くためのメソッドを理解し実践できるように練習を繰り返す。 最低限のポイントを押さえ、癖づいてしまった文字を修正していく。 また、POP 広告など掲示や販促を促すような、伝える・伝わる掲示物ができるようにする。</p>					
成績評価の方法					
メソッド毎、理解度・変化の度合いを学生が理解できる課題を提出。 また、学習意欲など演習の取り組み具合などを総合的に評価する。					課題 50% 学習意欲 50%
使用テキスト・教材					
メソッド毎のプリントを使用					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 漢字 (4つのポイント)			4	9. POP 広告	
2. ひらがな (つながり・丸み)			4	10. 絵本紹介	
3. 一筆箋			4		
4. 手紙			2		
5. カタカナ・アルファベット・数字			2		
6. 封筒・ハガキ			2		
7. 年賀状			2		
8. お礼状・ビジネス伝言 (実習のお礼状)			4		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要) 時間数は45分換算					年度	2020年度
					科目コード	H-K13
授業科目名			授業形態		学科・コース	
特別活動 I			実技・演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	60	2	深澤 みほ	
授業の目的・到達目標						
校外での集団行動も多く取り入れ、チームワークなど教室の授業では得られないコミュニケーション能力の向上ができるようになる。						
授業の概要						
保育分野への導入として、刈エンテションをしっかりと行い、九州短期大学での併修や専門科目への導入とする。また、保育分野への興味関心を途切れのないようにするために、「保育キャリア講座」を全6回に渡って開催する。他に、学校行事として、入学式やスポーツフェスティバル・ハイキング、その他行事など、通常の教科の学習を越えた範囲のさまざまな学習活動を行う。校外での集団行動も多く、チームワークなど教室の授業では得られない学習効果が得られる。						
成績評価の方法						
各行事への学習意欲で評価する。保育キャリア講座については、授業終了後のレポート提出にて評価する。					課題	50%
					学習意欲	50%
使用テキスト・教材						
なし						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 入学式			4	12.防災訓練		2
2. 刈エンテション			16	13.秋の遠足		8
3. ボーリング大会			2	14.スポーツフェスティバル		8
4. 保育キャリア講座①「OB・OGセミナー」			2			
5. 保育キャリア講座②「園長先生講話」			2			
6. 保育キャリア講座③「スーツ講座」			2			
7. 保育キャリア講座④「メイク講座」			2			
8. 保育キャリア講座⑤「自立への道」			2			
9. 保育キャリア講座⑥「保育実習に向けて」			2			
10. ハイキング			8			
その他				関連科目		

シラバス (授業概要)				年度		
時間数は45分換算				2020年度		
				科目コード		
				H-K14		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
特別活動Ⅱ			実技・演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	60	2	大村 菜李恵	
授業の目的・到達目標						
校外での集団行動も多く取り入れ、チームワークなど教室の授業では得られないコミュニケーション能力の向上ができるようになる。						
授業の概要						
学校行事として、各種行事（ハイキング・スポーツフェスティバル・ボウリング大会など）や九州短期大学へのスクーリングを実施する。						
成績評価の方法						
認定科目のため、学習意欲で評価する。 また、九州短期大学への本学スクーリングについては、報告書と報告会(課題)にて評価する。					課題 50% 学習意欲 50%	
使用テキスト・教材						
なし						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. ボウリング大会			4	6. おもちゃイラスト講座		10
2. ハイキング (富士急ハイランド)			8	7. スポーツフェスティバル (草薙体育館)		8
3. 防災訓練			2	8. 保育特別講座		4
4. 九州短期大学本学スクーリング 事前指導			2			
研修旅行			16			
報告会			4			
5. 九州短期大学科目終末試験			2			
その他			関連科目			

シラバス (授業概要)				年度		
				2020年度		
				科目コード		
				H-K16		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
幼児の心理学			講義・演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	15	1	磯部 隆	
授業の目的・到達目標						
<p>・保育者として幼児の遊び、言葉の発達、学び、行動の仕方に関する理解を深めていく。 また、ボランティア活動や実習時など実際にこどもと接する際には、幼児の心理学での理解を基にコミュニケーションが取れるようにしていく。</p>						
授業の概要						
<p>・幼児期の傾向と特徴、幼児の遊びの種類、遊びの治療的意味、遊びの教育的意義、言葉の発達、言葉の意義と獲得、遊びと学びの結びつき、人格形成理論と幼児の心理を概論していく。併せて、体験的な学び、演習を含めた学びを重視し進めていく。</p>						
成績評価の方法						
<p>基本的な事項の理解度を期末試験として評価。併せて、授業を重視するため一定の授業を経て、ミニレポートを提出することを求めます。まとめる力を培うためです。また、授業への姿勢と取り組み(学習意欲)を重視し、評価に加味していきます。</p>					<p>期末試験 60% レポート 20% 学習意欲 20%</p>	
使用テキスト・教材						
「よりよく生きるための心理学」(磯部 隆著 中部印刷)						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 幼児心理の概説			1	8. 思考、学び		2
2. 子どもの遊びの種類			1	9. 脳の働きと言葉		2
3. 遊びの治療的意味			1	10. 幼児の行動と成長		2
4. 遊びの境域的意味			1	11. 幼児のコミュニケーション		1
5. 言葉の発達			1			
6. 言葉の意義と獲得			2			
7. 遊びと学びの結びつき			1			
その他				関連科目		
				教育心理学 S		

シラバス (授業概要)				時間数は45分換算		年度	2020年度
						科目コード	H-K17
授業科目名			授業形態		学科・コース		
教育原理			講義・演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	30	2	中川 松枝		
授業の目的・到達目標							
教育の本質・意義・機能に関する理解や知識を習得できる 現代社会における教育の諸課題について考察し、幼児期の教育の基本原則とその特徴を理解できる							
授業の概要							
「教育とは何か」「教育の目的」など教育学の基礎知識を学ぶ 現代社会における教育の諸課題について考察し、子どもたちに必要な教育とは何かなど実践的な課題に触れ、学習を進める							
成績評価の方法							
期末試験、レポート課題に対する取り組み、授業内での積極性や理解度などの学習意欲 上記3項目を総合的に判定し評価する					期末試験	40%	
					課題	30%	
					学習意欲	30%	
使用テキスト・教材							
保育のための教育原理 ミネルヴァ書房							
授業内容・授業計画							
			時間数				時間数
1. オリエンテーション 教育とは何か			4	8. 教育の方法			2
2. 幼児教育思想の歴史			2	9. 教育の計画と評価			2
3. 教育制度の成立と幼児教育の展開			2	10. 現代社会と生涯学習			2
4. 戦後日本における教育の再出発			2	11. 教育・保育現場をめぐる 現代的課題			4
5. 教育の放棄と制度の基礎			4	12. 連携による教育・保育			2
6. 諸外国における教育・保育			2				
7. 教育の方法			2				
その他				関連科目			

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				H-K18	
授業科目名			授業形態		学科・コース
造形表現 (指導法)			講義・実技		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	15	1	戸塚 恵
授業の目的・到達目標					
<p>幼児期の心身は急激に変化発達する。こども達の発達を見守り、理解しながら、適切な指導をする体系を組み立てていかなければならない。教育者として造形という創造性を主体とする内容に、幼児の発達に即して適切な指導ができるよう基礎知識と技術を習得することを目的とする。</p>					
授業の概要					
<p>幼児の身体と心、能力の発達と造形表現の発達の間を学び、それぞれの発達段階に対応した指導ができるように基礎知識と技術の履修を目指す。材料や道具の使い方を習得する。幼児の発達に応じた効果的な材料や道具の活用方法を創意工夫して制作する。</p>					
成績評価の方法					
<p>幼児の発達段階をまとめて発達表の制作。実技で制作する課題を総合的に評価する。テストは実施せず提出物で評価する。</p>					<p>課題 80% 学習意欲 20%</p>
使用テキスト・教材					
<p>造形表現 (指導法) 教科書・アクリルガッシュ・スケッチブック・定規・ハサミ・カッター・のり・ボンド・ホットボンド (グルーガン) その他</p>					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 幼児の発達			2		
2. 幼児の造形表現の発達			2		
3. 発達表の制作			2		
4. 季節の行事をテーマに制作					
① 年少用			4		
② 年中用			2		
③ 年長用			2		
④ 5. 乳幼児向けの造形			2		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)				年度		
				2020年度		
				科目コード		
				H-K19		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
幼児と言葉			講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	15	1	平野 久美子	
授業の目的・到達目標						
保育内容領域としての「言葉」の理解を深めるとともに、実例や演習を通して幼児の言葉の発達に欠かすことのできない保育者の役割を知る。						
授業の概要						
保育所保育指針・幼稚園教育要領の中の領域「言葉」について読み解きながら、乳幼児の言葉の発達の学習を深める。また言葉の発達を助ける保育者の役割や具体的な活動について学ぶ。						
成績評価の方法						
授業への意欲・積極性				期末試験	50%	
小レポートの評価				課題	30%	
試験				学習意欲	20%	
使用テキスト・教材						
子どもと言葉 (萌文書林) 保育所保育指針・幼稚園教育要領						
授業内容・授業計画						
1. オリエンテーション・・・人の生活と言葉。言葉とは何か、言葉が人間生活の中で果たす役割や機能			時間 2	5. 保育者の言葉かけを通してのかかわり		時間 2
2. 子どもの言葉の発達・・・子どもの言葉の発達と、問題の理解			2	6. 児童文化財を通してのかかわり・・・絵本の捉え方、おもちゃの重要性		2
3. 領域「言葉」のねらいと内容・・・保育指針、教育要領のには「言葉」はどのようにおさえられているか			2	7. 言葉の育ちをとらえる視点・・・ねらいに対する評価・個人差に認める視点		2
4. 領域「言葉」の具体的な内容・・・内容を活動(遊び)へ			2	8. まとめ・・・言葉を駆使した遊び		2
その他				関連科目		
				言葉(指導法) S		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度	
				科目コード	H-K20	
授業科目名			授業形態		学科・コース	
幼児と人間関係			講義・演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	15	1	田村都弥	
授業の目的・目標						
領域「人間関係」のねらい及び内容について理解し、子どもを取り巻く環境とその先に目を向け、必要な学習計画や手立てを考察できるようになる。						
授業の概要						
領域「人間関係」のねらいと内容を知り、子どもの発達の特徴を踏まえ、様々なケーススタディをもとに、グループでより良い保育を論じて、深い理解と能力を身につける。集団生活における育ち合いを読み取り、仲間づくりなどの具体的な方法や援助法を考察する。						
成績評価の方法						
通常授業での積極性や協力的な学びの姿 レポート等での理解度 を総合的に評価する					課題 50% 学習意欲 50%	
使用テキスト・教材						
教科書：幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領 解説 対話的・深い学びの保育内容 人間関係 (塚本 美知子、萌文書林)						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 新しい幼児教育について			2	8. スピーチコミュニケーション (朝の活動より)		2
2. 領域「人間関係」とは			2			
3. 指導計画におけるねらいと内容			2			
4. 子どもを取り巻く社会の状況			2			
5. 現在の社会の中で育つ子供に必要な経験とは			2			
6. 人との関わり心理体験			2			
7. こどもと関わる自分			2			
その他				関連科目		
				人間関係 (指導法) S		

シラバス (授業概要)					年度	2020年度
時間数は45分換算					科目コード	H-K21
授業科目名			授業形態		学科・コース	
幼児と環境			講義・演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	8	1	田村 都弥	
授業の目的・目標						
「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園・保育要領」における領域「環境」という側面から、子どもの発達の特徴、学習計画と実際の指導法を理解する。						
授業の概要						
領域「環境」のねらいと内容を知り、実際の子どもの姿や育ちを思い浮かべながら、グループでより良い保育を論じて探っていくアクティブラーニングによって、深い理解と能力を身につける。						
成績評価の方法						
通常授業での積極性や協力的な学びの姿 レポート等での理解度 を総合的に評価する					課題	50%
					学習意欲	50%
使用テキスト・教材						
教科書：幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領 解説 最新保育講座9 保育内容 「環境」(柴崎 正行, 若月 芳浩, ミネルヴァ書房)						
授業内容・授業計画						
1. 現在のこどもの環境について考える			時間数	2		時間数
2. 自然との関わり方			2	8. 環境と関わる力 (生活の中から見つけよう)		2
3. 自然環境との関わりの考察			2			
4. 成長過程におけるこどもの環境への関わり			2			
5. こどもが興味を持つ自然遊び			2			
6. 自然遊び発表と伝承遊び			2			
7. 日本の伝統的な遊び (お手玉)			2			
その他				関連科目		
				環境 (指導法) S		

シラバス (授業概要)				年度		
				2020年度		
				科目コード		
				H-K22		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
社会福祉			講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	2	工藤 豪	
授業の目的・到達目標						
社会福祉に関する基本的知識を身につけるとともに、医療・介護・年金・生活保護など日本の社会保障における仕組みや特質・課題について理解し、自らの言葉で説明できるようになる。						
授業の概要						
世界で最も老年人口割合が高く、人口高齢化の著しい日本社会において、社会福祉の制度・サービスは重要な意味をもっている。本授業では、講義形式と資料解釈作業およびグループ考察を併用し、社会福祉の歴史的展開や人口高齢化の動向、社会保障と人びとの生活の関わりについて理解を深めていく。						
成績評価の方法						
学期末に行う定期試験(期末試験)、作業プリントやリアクションペーパーの内容等(課題)、授業時の受講態度やグループ考察時の参加姿勢など(学習意欲)、以上から総合的に評価する。				期末試験	50%	
				課題	25%	
				学習意欲	25%	
使用テキスト・教材						
『コメディカルのための社会福祉概論 第4版』(2018、鬼崎信好・本郷秀和編、講談社)						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. オリエンテーション・社会福祉の歴史と展開(1)―明治期―			2	9. 社会保障制度の体系		2
2. 社会福祉の歴史と展開(2)―大正期・昭和前半―			2	10. 社会保障と社会福祉(1)―健康保険と国民健康保険―		2
3. 社会福祉の歴史と展開(3)―戦後の日本―			2	11. 社会保障と社会福祉(2)―高齢者に関する医療制度―		2
4. 人口高齢化の動向(1)―人口高齢化の国際比較―			2	12. 社会保障と社会福祉(3)―介護保険制度の概要―		2
5. 人口高齢化の動向(2)―死亡率の低下と長寿化の影響―			2	13. 社会保障と社会福祉(4)―介護保険制度を支えるケアマネジメント―		2
6. 人口高齢化の動向(3)―人口移動と老年人口割合の地域差―			2	14. 社会保障と社会福祉(5)―公的年金制度の概要―		2
7. 社会福祉の制度に関する近年の展開(1)―福祉レジームからみる提供システム―			2	15. 社会保障と社会福祉(6)―生活保護制度の概要―		2
8. 社会福祉の制度に関する近年の展開(2)―近年における展開と地域福祉―			2			
その他			関連科目			

シラバス (授業概要)				年度		
				2020年度		
				科目コード		
				H-K23		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
子ども家庭福祉			講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	30	2	工藤 豪	
授業の目的・到達目標						
子ども家庭福祉に関する基本的知識を身につけるとともに、子ども家庭福祉をめぐる制度や施策の特徴、児童虐待や子育て環境における課題について理解し、自らの言葉で説明できるようになる。						
授業の概要						
少子化の進行や地域社会の稀薄化に象徴されるように、わが国の子どもをめぐる環境は急速に変容しているが、その中で、子どもの健やかな育ちをどのように支援していくべきなのであろうか。本授業では、子ども家庭福祉の理念と対象、児童福祉に関する制度の展開、子育て支援施策の特徴、児童虐待における課題、子育て支援サービスや子育て環境の特質などについて理解を深めていく。						
成績評価の方法						
学期末に行う定期試験（期末試験）、作業プリントやリアクションペーパーの内容等（課題）、授業時の受講態度やグループ考察時の参加姿勢など（学習意欲）、以上から総合的に評価する。				期末試験	50%	
				課題	25%	
				学習意欲	25%	
使用テキスト・教材						
『知識を生かし実力をつける子ども家庭福祉』（2020、流石智子監修／浦田雅夫編著、保育出版社[教育情報出版]）						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. オリエンテーション・子ども家庭福祉の理念			2	9. 近年における子ども家庭福祉の展開（1）－1990年代の子育て支援－		2
2. 「児童福祉」から「子ども家庭福祉」への変化・転換			2	10. 近年における子ども家庭福祉の展開（2）－2000年以降の子育て支援－		2
3. 親権と子ども			2	11. 児童虐待（1）－分類と近年の特徴－		2
4. キーワードからみる子ども観（1）－捨て子・堕胎・跡取り－			2	12. 児童虐待（2）－制度的対応－		2
5. キーワードからみる子ども観（2）－愛着理論と3歳児神話－			2	13. 子育てに関する経済的支援		2
6. 児童福祉の展開（1）－戦前－			2	14. 子育て支援サービスと子育て環境		2
7. 児童福祉の展開（2）－戦後－			2	15. 子どもの存在と母子保健に関する動向		2
8. 少子化とベビーブーム			2			
その他			関連科目			

シラバス (授業概要)					年度	2020年度	
時間数は45分換算					科目コード	H-K24	
授業科目名			授業形態		学科・コース		
保育原理			講義・演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	30	2	大村 茉莉恵		
授業の目的・到達目標							
保育の意義、目的や保育所保育指針における保育の基本、保育についての思想や歴史についての知識や子どもを援助するうえでの保育の内容と方法の基礎事項が理解できる。							
授業の概要							
保育者になる為に必要な保育の基本的内容の他に、子どもの発達や保育の方法についても具体的に学ぶ。また、保育の現状と課題について考察しグループでの話し合いや発表を通して、保育に対する自分なりの見識が持てるようにしていく。							
成績評価の方法							
期末試験の結果、課題、学習意欲（グループワークも含む）を総合的に評価する。					期末試験	50%	
					課題	20%	
					学習意欲	30%	
使用テキスト・教材							
<ul style="list-style-type: none"> ・保育原理（近畿大学九州短期大学発行）・保育所保育指針解説 ・つながる保育原理【シリーズ知のゆりかご】（みらい・井上孝之、小原敏郎、三浦主博 編） 							
授業内容・授業計画							
			時間数			時間数	
1.	オリエンテーション 保育とは		4	7.	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿とつながる 小学校との接続		4
2.	乳幼児の特質と保育の意義		4	8.	保育の計画とつながる		6
3.	子どもの育ちとつながる 子どもとは・発達とは		4	9.	これからの保育者論		4
4.	保育の行われている場所とつながる 保育施設をめぐるしくみ		4	10.	保護者と地域のコミュニケーション		4
5.	保育の基本とつながる 保育所保育指針をもとに		6	11.	海外の保育思想と歴史		4
6.	保育のねらいと内容と方法 乳児と1.2歳児・3歳児以上		6	12.	日本の保育思想と歴史		4
				13.	保育の現状と課題		6
その他				関連科目			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	H-K25
授業科目名			授業形態		学科・コース
社会的養護 I			講義		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	工藤 豪
授業の目的・到達目標					
社会的養護に関する基本的な知識を身につけるとともに、社会的養護における理念・仕組み・実施体制などの特質・課題について理解し、自らの言葉で説明できるようになる。					
授業の概要					
わが国は子どもの出生数が減少しているにもかかわらず、保護や養護を必要とする子どもは増加傾向にあり、社会環境の変化の中で社会的養護の必要性は高まっている。そのような状況を踏まえ、社会的養護の歴史・理論・体系、その特徴や課題などについて理解を深めていく。					
成績評価の方法					
学期末に行う定期試験(期末試験)、作業プリントやリアクションペーパーの内容等(課題)、授業時の受講態度やグループ考察時の参加姿勢など(学習意欲)、以上から総合的に評価する。				期末試験	50%
				課題	25%
				学習意欲	25%
使用テキスト・教材					
『MINERVA はじめて学ぶ子どもの福祉5 社会的養護』(2018、伊藤嘉余子・福田公教編著、ミネルヴァ書房)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション・社会的養護の動向と現状		2	9. 社会的養護の実施体制		2
2. 社会的養護で暮らす子ども		2	10. 社会的養護の枠組み—パーマネンシーという視点—		2
3. 社会的養護を支える理論		2	11. 施設養護(1)—機能と役割の変化—		2
4. 社会的養護の必要性		2	12. 施設養護(2)—レジデンシャルワーク—		2
5. 子どもを産み育てるということ		2	13. 家庭的養護		2
6. 社会的養護の歴史(1)—古代から大正期まで—		2	14. 里親制度の概要と課題		2
7. 社会的養護の歴史(2)—昭和期から現代まで—		2	15. 小規模住居型児童養育事業と養子縁組制度		2
8. 社会的養護の歴史(3)—近年における課題—		2			
その他			関連科目		
			社会的養護 IIS		

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				H-K26	
授業科目名			授業形態		学科・コース
子ども家庭支援論			講義		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	工藤 豪
授業の目的・到達目標					
子どもと家庭に関する基本的知識を身につけるとともに、現代の日本社会で家庭支援を行う意義や家庭への個別的な支援における特徴や課題について理解し、自らの言葉で説明できるようになる。					
授業の概要					
核家族化やきょうだい数の減少および地域社会の稀薄化などにより、わが国で伝統的に行われてきた家庭の機能・役割が縮小している中、保育者による家庭支援の意義・必要性が高まっている。そのような社会の変容を踏まえ、子どもと家庭における特徴や抱える課題を把握し、制度を活用しながら多様な家庭を支援していく方法について理解を深めていく。					
成績評価の方法					
学期末に行う定期試験（期末試験）、作業プリントやリアクションペーパーの内容等（課題）、授業時の受講態度やグループ考察時の参加姿勢など（学習意欲）、以上から総合的に評価する。				期末試験	50%
				課題	25%
				学習意欲	25%
使用テキスト・教材					
『よくわかる家庭支援論』（2015、橋本真紀・山縣文治編、ミネルヴァ書房）					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション・家庭支援を行う意義と求められる背景		2	9. 保育者による家庭支援－保育所保育指針と幼稚園教育要領－		2
2. 子どもと家庭（1）－基本的な家族形態と家族構造－		2	10. 子どもを産み育てるライフコースとその障壁		2
3. 子どもと家庭（2）－核家族化の実態－		2	11. 女性の社会進出と特別なニーズを有する家庭への支援		2
4. 子どもと家庭（3）－現代社会における家庭の機能－		2	12. 家庭への個別的な支援（1）－家庭への個別支援における留意点－		2
5. 子どもと家庭（4）－地域社会と子育て環境の変容－		2	13. 家庭への個別的な支援（2）－アセスメントと援助計画の作成－		2
6. 子どもと家庭（5）－親になるプロセスとリプロダクティブヘルス/ライツ－		2	14. 家庭への個別的な支援（3）－援助活動の実施から評価・終結へ－		2
7. 子どもと家庭（6）－乳幼児期の子どもと子育て		2	15. 家庭への個別的な支援（4）－家庭支援における記録の目的とジェノグラムの作成－		2
8. 子どもと家庭を支える機関・人・制度		2			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				H-K27	
授業科目名			授業形態		学科・コース
幼児への特別な支援			講義		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必須	15	1	前田 基子
授業の目的・到達目標					
<p>特別支援教育に関する理念や制度の仕組みを理解する。 特別な支援を必要とする幼児の心身の発達と心理的特性および学習の過程を理解する。 特別な支援を必要とする幼児への支援の方法について例示することができる。</p>					
授業の概要					
<p>特別支援教育に関する仕組みを学んだ後、特別な支援を必要とする幼児の発達や特性、支援の方法について学ぶ。また、保育士が他機関や家庭と連携して支援する際の、留意点についても学ぶ。</p>					
成績評価の方法					
<p>期末試験、テーマに対するレポート、学習意欲（受講態度及び取り組み姿勢）を総合的に評価する。</p>				期末試験	40%
				レポート	30%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
<p>幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領 よくわかる障害児保育（尾崎康子・小林真・水内豊和・阿部美穂子編 ミネルヴァ書房）</p>					
授業内容・授業計画					
1. 特別支援教育に関する理念・制度の仕組み			時間数	2	
2. 発達障害児・知的障害児の発達と学習			時間数	2	
3. 視覚障害児・聴覚障害児・肢体不自由児・病弱時等の学習上及び生活上の困難			時間数	2	
4. 特別な支援を必要とする幼児への支援方法			時間数	2	
5. 「通級による指導」及び「自立活動」の教育課程上の位置づけと内容			時間数	2	
6. 個別指導の指導計画と個別の教育支援計画を作成するための基礎知識			時間数	2	
7. 園内連携と家庭及び関係機関との連携の必要性			時間数	2	
8. 多様な支援を必要とする幼児（外国につながる子ども、貧困の子ども）の理解と保育			時間数	2	
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算		年度	2020年度
					科目コード	H-K28
授業科目名			授業形態		学科・コース	
子どもの食と栄養			講義・演習		子ども保育科	
履修学年			時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	15	2	末永 美雪	
授業の目的・到達目標						
小児の発達・発育の特性、健康・栄養に関する基本的な知識を踏まえ、小児期における発達段階に応じた栄養法、食生活、集団給食（保育所給食）、食育の重要性を理解する。						
授業の概要						
保育者として、子どもに適切な食事環境を提供できるよう、それぞれの発達段階の特性や、栄養について理解させ、調理技能の習得を目指す。						
成績評価の方法						
期末試験と課題、平常点（学習意欲）を総合的に評価する					期末試験	50%
					課題	30%
					学習意欲	20%
使用テキスト・教材						
テキスト：二見大介・高野 陽 編著、『子どもの食と栄養』、北大路書店 2017 年版 参考文献：『食品成分表』 女子栄養大学出版部 菅原 園他『発育期の子どもの食生活と栄養』、学建書院						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1、栄養に関する基礎知識			2			
2、乳児期の授乳栄養について			4			
3、離乳栄養について			4			
4、幼児期の栄養について			2			
5、幼児期の栄養上の問題点と食育			2			
6、小児期の食生活について			2			
その他			関連科目			
			子どもの食と栄養 S			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度	
				科目コード	H-K29	
授業科目名		授業形態		学科・コース		
子どもの保健		講義・演習 グループワーク		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	30	2	池ヶ谷 麻紀子	
授業の目的・到達目標						
[目的] 子どもの心身の健康の維持増進のために、保育者に必要な知識と技術を身につけることができる						
[目標] ・子どもの保健の概要がわかり、子どもの保健の社会的意義について理解できる						
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健康な発育・発達を理解できる ・子どもの健康を妨げる要因を知り、その対応について、実践につながる知識・技術を身につけることができる ・保育者として、子どもの保健における自己の役割について考えることができる 						
授業の概要						
討議、グループワーク、演習を中心に、子どもの健康に関して実践につながる内容を学習する。 事前学習で個々に得た知識を持ち寄り、討議やグループワークで全体共有することで、学習をより確かなものにしていく。						
成績評価の方法						
1. 学習意欲	事前課題で十分な学習準備を行っているか、積極的な発言ができていないか、他者の意見を聞くことができていないか、で評価する。				期末試験	50%
2. レポート	一定期間学習が進んだところで、題目を提示する。自分の考えをきちんと持ち、他者に伝えることができるかを評価する。				課題	20%
3. 期末試験	討議、グループワーク、演習で取り上げた内容から出題する。				学習意欲	30%
使用テキスト・教材						
よくわかる子どもの保健 (ミネルヴァ書房)						
授業内容・授業計画						
		時間数			時間数	
1. オリエンテーション	子どもの保健とは	2	6. 子どもの疾病と予防、対策			
2. 子どもの保健と社会		2	6-1. 小児の疾患		2	
3. 子どもの身体発育と保育			6-2. 症状と対応		2	
3-1. 子どもの身体の特徴		2	7. 子どもの障害のとらえ方		2	
3-2. 子どもの身体発育の評価		2	8. 現代社会における子どもの健康		2	
3-3. 子どもの生理機能		2	精神衛生、生活習慣、事故と安全対策			
4. 子どもの発達と保育			9. 児童福祉施設における保健		2	
4-1. 子どもの運動機能の発達		2	10. 子どもの保健における		2	
4-2. 子どもの精神発達		2	保育者の役割			
5. 子どもの生活と保健						
5-1. 身体の清潔		2				
5-2. 食生活、睡眠		2				
その他			関連科目			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	H-K30
授業科目名		授業形態		学科・コース	
保育の心理学		講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	2	内野 千珠子
授業の目的・到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点について理解できる。 ・乳幼児期の子どもの学びの課程や特性について基礎的な知識を習得し、保育における人との相互的関わりや体験、環境の意義が理解できる。 					
授業の概要					
子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子どもへの理解を深める。					
成績評価の方法					
期末試験、授業での学ぶ取り組む姿勢(学習意欲)、課題(授業後レポート)を総合的に評価する。				期末試験	30%
				課題	50%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
教科書： 保育の心理学 (中央法規)					
その他： 必要に応じてプリント配布					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション		2	4. 子どもの学びと保育		
2. 子どもの発達過程			4-1 乳幼児期の学びに関わる理論		4
2-1 子どもの発達を理解することの意義		2	4-2 乳幼児期の課程と特性		4
2-2 子どもの発達と環境		2	4-3 乳幼児期のまなびを支える保育		4
2-3 発達理論と子ども観・保育観		2			
3. 子どもの発達過程					
3-1 社会情動的発達		2			
3-2 身体的機能と運動機能の発達		2			
3-3 認知の発達		2			
3-4 言語の発達		4			
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	H-K31
授業科目名			授業形態	学科・コース	
子ども家庭支援の心理学			講義	こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	2	保育者(経験10年超)
授業の目的・到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解できる。 ・家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係などについて発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点が習得できる。 ・子育て家庭をめぐる現代の社会状況と課題について理解できる。 ・子どもの精神保健とその課題について理解できる。 					
授業の概要					
生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得できるよう、初期経験の重要性、発達課題等について、家族・家庭の意義や機能を学んでいく。また、子育て家庭をめぐる現代の社会状況や子どもの精神保健についても考え、それらの課題についても理解できるようにしていく。					
成績評価の方法					
期末試験の結果、演習課題の評価点、学習意欲(授業態度)を総合評価したうえで決定する。実習課題については、要求された機能が実現しており、かつ、決められた期日までに提出することが最低条件である。実習課題が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。				期末試験 50% 課題 30% 学習意欲 20%	
使用テキスト・教材					
テキスト：子どもの家庭支援の心理学 (中央法規)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 生涯発達			3. 子育て家庭に関する現状と理解		2
1-1 乳幼児期から学童期前期にかけて発達		2	3-1 子育てを取り巻く社会的状況		2
1-2 学童期後期から青年期後期にかけての発達		2	3-2 ライフコースと仕事・子育て		2
1-3 成人期・老年期における発達		2	3-3 多様な家庭とその理解		2
2. 家庭・家族の理解			3-4 特別な配慮を要する家庭		2
2-1 家族・家庭の意義と理解		2	4. 子どもの精神保健とその課題		
2-2 親子関係・家族関係の理解		2	4-1 子どもの生活・生育環境とその影響		4
2-3 子育ての経験と親としての育ち		2	4-2 子どもの心の健康に関わる問題		4
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	H-K32
授業科目名			授業形態		学科・コース
教育課程総論			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	田村 都弥
授業の目的・目標					
幼児教育カリキュラム全体を見据え、子どもの姿や発達を考えながら、自ら作成するために必要な知識と能力の習得ができる。					
授業の概要					
幼児教育カリキュラムの基本的理解に必要な知識を学び、具体的な指導案の作成を通して、保育展開の流れを学ぶ。					
成績評価の方法					
通常授業での積極性や協力的な学びの姿 レポート等での理解度 を総合的に評価する				課題	50%
				学習意欲	50%
使用テキスト・教材					
教科書：あたらしい幼児教育課程総論（岸井 勇雄、横山 文樹、同文書院） 適時プリント配布 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領 解説					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	「教育課程総論」の授業の概要と目的	2	6.	環境を通して行う教育	2
2.	幼児教育課程の基本	2	7.	幼稚園・保育園・こども園の基本的性格	4
3.	施設別基本的流れ	2	8.	教育課程の基準	4
4.	教育要領と保育方針	2	9.	幼児教育課程の基本	4
5.	指導計画作成の実際 「幼児理解」「子どもの姿」「ねらいと内容」 「環境構成」「援助」「ふりかえり」 「日案、週案」	2	10.	ビデオ視聴とグループディスカッション 実際の保育を見て学ぶ	4
			11.	まとめ レポート	2
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	H-K33
授業科目名		授業形態		学科・コース	
教育方法論		講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	保育者(経験10年超)
授業の目的・到達目標					
①幼児教育・保育に関する基礎的な基本的知識を理解する。 ②上記の点を踏まえ、保育現場における適切な活動を構想できるようにする。 ③教師・保育者の意図や工夫、子どもの学びについて考える。					
授業の概要					
前半：教科書中心に幼児教育の方法について講義をする。(環境を通した保育・主体的保育・遊びを通した保育・保育形態) 後半：乳児から幼児へのつながる保育を発達領域と保育環境から学ぶ。					
成績評価の方法					
記述テスト、課題の内容や提出方法、学習態度等を考慮し、総合的に判断し評価する。グループディスカッションには積極的な参加を望む。				期末試験	50%
				課題	30%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
テキスト：「幼児教育の方法」(小田 豊・青井典子) その他：必要に応じてプリント配布					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション 全講義の流れ・幼児期にふさわしい教育方法とは何か。		2	8. 遊びの中の学びをはぐくむ保育 友だちと関わってする遊び 共通の目的を見出し協同する遊び		2
2. 幼児教育と保育		2	9. 様々な保育形態を学ぶ 保育形態のタイプ		2
3. 環境を通しての保育		2	10. 保育における評価		2
4. 遊びを通しての保育		2	11. 保育の記録と省察		2
5. 子どもの主体性の育成		2	12. 小学校との接続と連携		2
6. 保育者の役割		2	13. 家庭と地域との連携		2
7. 遊びの中の学びをはぐくむ保育 感じる・表現する遊び 気づく・試す・考える遊び		2	14. 保育におけるカウンセリングマインド		2
			15. まとめ		2
その他			関連科目		
講義終了後、ワークシートにて自身の学びを振り返る。					

シラバス (授業概要)				年度		
				2020年度		
				科目コード		
				H-K34		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
教職概論			講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	2	保育者(経験10年超)	
授業の目的・到達目標						
①教職に意義、職務内容、資質について理解する。 ②自分自身が目指す教師像をより豊かに明確なものとする。						
授業の概要						
教育とは何か、子どもにとっての教師とは何か、教職に関わる職務内容や歴史等を理解しながら学ぶ。また、指導の方法と考え方、カウンセリングマインドについての学びを深めながら、どのような教師として成長したらよいかを事例や記事を通して自分なりの答えを導き出していく。						
成績評価の方法						
記述テスト、課題の内容や提出方法、学習態度等を考慮し、総合的に判断し評価する。グループディスカッションには積極的な参加を望む。				期末試験	50%	
				課題	30%	
				学習意欲	20%	
使用テキスト・教材						
改訂 教職概論 (古橋和夫)						
その他：必要に応じてプリント配布						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. ガイダンス～教育とは何だろう			2	8. 幼稚園・保育所・認定こども園の生活		2
2. 教職とは何か			2	9. 小学校での学習		2
3. 教師としての資質と生活			2	10. チームとしての学校		2
4. 現代社会における子ども 今、子どもに何が起きているか ～グループ討議			2	11. 保育・教育の場でのカウンセリングマインド		2
5. 現代社会における子ども 今、子どもに何が起きているか ～グループ討議			2	12. 教師をめぐる新しい動き		2
6. グループ発表			2	13. 教師をめぐる法律 ～教育教員免許法・教師の身分・ サービス義務		2
7. 幼稚園・保育所・認定こども園とは			2	14. 教育の質を高めるための自己研鑽		2
			2	15. まとめ		2
その他				関連科目		
講義形式だが、授業内におけるグループ討議には積極的に参加をしてほしい。日頃からニュースや新聞の教師等の記事に注目してほしい。						

シラバス (授業概要)				年度		
				2020年度		
				科目コード		
				H-K35		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
教育相談			講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必須	30	1	保育者(経験10年超)	
授業の目的・到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの気持ちを深く理解し、共感的な対応が柔軟にできる。 ・子どもをめぐる諸問題について、自分自身の体験に基づき、更に学んだ知識を活用して、論理的に思考し、意見を述べたり書いたりすることができる。 ・保育や教育の現場での様々な子どもの発達課題についての基礎知識とスキルを習得する。 ・発達障害、児童虐待、日本で暮らす外国につながる子どもたち、登園渋り・不登校など、子どもをめぐる問題についての知識を学び、考える力を身につけることを目的とする。 						
授業の概要						
<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談の基礎的事項について学ぶ。 ・カウンセリング理論およびアセスメント技法について学ぶ。 ・不登校・いじめ・非行・発達障害・虐待の知識を深める 						
成績評価の方法						
レポート・学習意欲を総合的に評価する。レポート、学習意欲(授業態度)を総合評価したうえで決定する。実習課題については、要求された機能が実現しており、かつ、決められた期日までに提出することが最低条件である。実習課題が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。					課題 80% 学習意欲 20%	
使用テキスト・教材						
テキスト：子育て支援カウンセリング～幼稚園・保育園で行う保護者の心のサポート～(石川洋子/図書文化) 必要に応じてプリント配布						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. オリエンテーション			2	11. 教育相談の実際-思春期		2
2. 教育相談の基本			2	12. 教育相談の実際-子どもの絵		2
3. 教育相談と心理アセスメント技法			2	13. 教育相談の実際-ネット社会		2
4. 子どもの自己理解を進める技法			2	14. レポート		2
5. 園児への心理的援助			2	15. まとめ		2
6. 小学校における児童への心理的援助			2			
7. 中学校における児童への心理的援助			2			
8. 教育相談の実際-不登校			2			
9. 教育相談の実際-引きこもり			2			
10. 教育相談の実際-発達がいとの関係			2			
その他				関連科目		

シラバス (授業概要)					年度	2020年度
時間数は45分換算					科目コード	H-K37
授業科目名			授業形態		学科・コース	
児童文化			演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	15	1	大村 茉莉恵	
授業の目的・到達目標						
<p>様々な児童文化財や遊びの実践を通して、その意義や目的など専門的な知識を習得し、適切な児童文化財を子どもに与えることができる。</p> <p>オリジナルの児童文化財を製作し発表することができる。</p>						
授業の概要						
<p>保育の質を向上させるために必要な児童文化財の背景や子どもの成長と文化の関わり、具体的な活用方法等を学ぶ。同時に児童文化財を実際に活用しながら、子どもに対する効果的な働きかけ方について学ぶ。そのうえで、パネルシアターの演じ方、基礎的な技能について習得し、パネルシアターを製作する。</p>						
成績評価の方法						
グループワークでの発言、積極性や協調性などの授業態度、課題、パネルシアターの完成度、発表での演じ方を総合評価したうえで決定する。					期末試験	50%
					学習意欲	50%
使用テキスト・教材						
<p>児童文化 (近畿大学九州短期大学発刊)</p> <p>必要な資料をプリント</p>						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. オリエンテーション 児童文化とはなにか			2	3. オリジナルパネルシアター製作		
2. 様々な児童文化財の保育への展開				3-1 題材決め・ストーリー組み立て		2
2-1 絵本・紙芝居・手遊び			2	3-2 絵人形作成		4
2-2 伝承遊び			2	下書き・色塗り・アウトライン		
2-3 ペーパーサート・エプロンシアター パネルシアター・手袋シアター・人形劇			2	仕掛け作り		
				4. 経過発表		2
				児童文化Sに向けて		
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である				・児童文化S		

シラバス (授業概要)					年度	2020年度
時間数は45分換算					科目コード	H-K38
授業科目名			授業形態		学科・コース	
乳児保育 I			講義・演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	30	2	大村 茉李恵	
授業の目的・到達目標						
0.1.2 歳児の発育と発達の特徴について理解し、保育者として必要な知識と技能の基礎を身につける。また、子育てを担う保護者を支援する保育者としての役割を自覚し、支援を行う上での知識や技能が習得できるようになる。						
授業の概要						
乳児期は人格の基礎が形成される重要な時期である。0.1.2 歳児の発達に合わせた健全な育ちを保障するために、保育者として必要な関わり方や援助の仕方を具体的に学ぶ。また、乳児保育の課題と現状を理解し事例、発表、グループ討議を通して乳児保育について考察する。						
成績評価の方法						
学習意欲（発表含む）、課題（レポート、ワークシート）の評価点を総合評価したうえで決定する。					課題	50%
					学習意欲	50%
使用テキスト・教材						
<ul style="list-style-type: none"> ・はじめて学ぶ乳児保育 同文書院 ・保育所保育指針 ・認定こども園教育保育要領 						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. オリエンテーション 乳児保育の意義			2	3-4 離乳食の基礎知識		4
2. 理論編				3-5 授乳の仕方とその準備		2
2-1 乳児保育の成り立ち・制度・法律			4	3-6 連絡帳の書き方		2
2-2 保育所保育指針とそのポイント			4	3-7 まとめ		2
2-3 乳児保育における複数担任制 保育所で過ごす1日の流れ			4			
3. 実践編						
3-1 乳児との触れ合い方の基本			2			
3-2 着替えの配慮とおむつ替え			2			
3-3 衛生管理と安全管理			2			
その他				関連科目		
※授業内でレポート課題とワークシートを実施する。				・乳児保育Ⅱ		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	H-K39
授業科目名		授業形態		学科・コース	
音楽I		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	120	4	大須賀 千尋
授業の目的・到達目標					
<p>ピアノ初心者は基礎的な技術を習得し、簡単な弾き歌いができるようにする。 経験者は技術向上に努め、更に弾き歌いのレパートリーを数多く作る。 楽典で演奏に必要な知識を身につけ、発音・発声・音程など歌唱力の基礎を作る。</p>					
授業の概要					
<p>「音楽の楽しさ」を伝えられる幼児教育者となる為に必要な表現力・技術力をつける第一段階として、「歌うこと」、「弾くこと」の基礎をつくっていく。前・後期で実技、楽典（筆記）の試験を行う。 ピアノは個々の能力や進度に応じて進めていく。</p>					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・実技、楽典（筆記）試験 ・授業の参加態度・参加意欲 ・日々の練習課題（目標クリア率等）以上を基に総合評価する 				期末試験	50%
				課題	25%
				学習意欲	25%
使用テキスト・教材					
<p>近畿大学九州短期大学 音楽ピアノ教本、声楽教本、 ジュニアクラスの楽典テキストワーク 他、随時配布するプリント、個々の能力に応じた教材を使用する</p>					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
コミュニケーション		4	レッスン、歌、前期の復習		4
基礎知識、姿勢と指の形		4	レッスン、歌、拍子と拍①		4
レッスン、歌、音符①		4	レッスン、歌、拍子と拍②		4
レッスン、歌、休符①		4	レッスン、歌、強起と弱起		4
レッスン、歌、読譜		4	レッスン、歌、連符と速度記号		4
レッスン、歌、音符②		4	レッスン、歌、中間確認		4
レッスン、歌、休符②		4	レッスン、歌、奏法を支持する記号①		4
レッスン、歌、中間確認		4	レッスン、歌、奏法を支持する記号②		4
レッスン、歌、変化記号①		4	レッスン、歌、強弱記号①		4
レッスン、歌、変化記号②		4	レッスン、歌、強弱記号②		4
レッスン、歌、異名同音		4	レッスン、歌、曲想を表す記号		4
レッスン、歌、反復記号		4	レッスン、歌、フレーズ①		4
レッスン、歌、読譜確認		4	レッスン、歌、フレーズ②		4
前期試験		4	後期試験		4
レッスン、歌、後期に向けて		4	1年間のまとめ		4
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である			音楽Ⅱ、音楽Ⅲ、 音楽表現（指導法）S、幼児と音楽表現		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	H-K40
授業科目名			授業形態		学科・コース
音楽Ⅱ			演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必須	90	3	大須賀 千尋
授業の目的・到達目標					
弾き歌いを中心に、教育実習・保育実習での童謡の伴奏が出来るようにする。 また、レパートリーをより増やす。					
授業の概要					
「音楽の楽しさ」を伝えられる幼児教育者となる為に必要な表現力・技術力をつける段階として、「歌うこと」「弾くこと」のレベルを上げる。 また、就職活動年次に対応できるよう楽典(筆記)の問題にも取り組む。					
成績評価の方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・実技、楽典試験 ・授業の参加態度・参加意欲 ・日々の練習課題(目標クリア率等)以上を総合的に評価する。 				期末試験	50%
				課題	25%
				学習意欲	25%
使用テキスト・教材					
近畿大学九州短期大学 音楽ピアノ教本、声楽教本 ジュニアクラスの楽典テキストワーク・プリント					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	幼児音楽(生活の歌) 反復練習・速度記号	8	8.	幼児音楽(秋)	8
2.	幼児音楽(夏)(行事の歌)・音程	8	9.	課題テスト(ピアノ演奏・弾き歌い)	4
3.	課題テスト(ピアノ演奏・弾き歌い)	4	10.	実習に向けての課題曲	
4.	実習に向けての課題曲・音程	6	11.	課題テスト(ピアノ演奏・弾き歌い)	6
5.	課題テスト(ピアノ演奏・弾き歌い)	4	12.	幼児音楽(冬)	4
6.	個々の課題曲	6	13.	個々の課題曲	
7.	前期末試験	4		後期末試験	8
				アンサンブル奏法	8
					4
					8
その他			関連科目		
			音楽Ⅰ・音楽Ⅲ		

シラバス (授業概要) 時間数は45分換算					年度	2020年度	
					科目コード	H-K42	
授業科目名			授業形態		学科・コース		
実習指導 I			その他		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	通年	必修	60	2	大村 茉李恵		
授業の目的・到達目標							
保育実習・教育実習の意義、目的や各施設と役割について理解し、自らの課題を明確にできる。また、実習へむけて必要な知識、マナー、子どもとの関わり方を身に付け、学生が抱える実習に対する不安や困難を軽減できるようになる。							
授業の概要							
<ul style="list-style-type: none"> ・テキストを使用しながら、実習に必要な知識、マナー、子どもや保育者との関わり方、トラブルが起きた時の対策など具体的に学び、実習で活かせるようにする。また、実際にこども園へ見学に行き日誌の記入の仕方について学ぶ。 ・テーマに沿っての自分の考えや不安をグループやクラスで話し合う中で気持ちを共有する。また、不安をそのままにせず解決策を考えたり提示したりすることで自信を持って実習に臨めるようにする。 							
成績評価の方法							
学習意欲 (授業態度・グループワークでの取り組みや発表)、課題 (保育に関する実技課題・実習課題・保育漢字テスト) を総合的に評価する。					課題	60%	
					学習意欲	40%	
使用テキスト・教材							
幼稚園・保育園事前実習指導 (近畿大学九州短期大学発刊) 自分でつくるBOOK&NOTEー教育・保育実習でよりよい時間を過ごそうー (同文書院) その他必要な資料をプリント							
授業内容・授業計画							
			時間数			時間数	
1. オリエンテーション 保育者に求められる資質			2	8. オリエンテーション 保育所見学に向けて観察のポイント			2
2. 実習の目的			2	9. 保育所見学			4
3. 実習の課題 I			2	10. 「実習オリエンテーション」について・保育者の仕事を学ぶ			8
4. 実習の課題 II			2	11. 日誌・指導案の書き方			6
5. 安心して実習に挑む為に 保育者になる為に今できること			4	12. 実習に役立つ教材製作			6
6. 安全や健康衛生の理解			4	13. 実習に向けての心構え トラブルが起きた時の対処法			4
7. 実習の決定にあたって 電話の掛け方			4	14. 実習直前指導			4
				15. 自主実習を終えて I			2
				16. 自主実習を終えて II			2
				17. まとめ			2
その他				関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である				・実習指導 II ・実習指導 III			

シラバス (授業概要)					年度		
					2020年度		
時間数は45分換算					科目コード		
					H-K43		
授業科目名			授業形態		学科・コース		
実習指導Ⅱ			必修		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	通年	必修	60	2	大村 菜李恵		
授業の目的・到達目標							
保育実習・教育実習の意義、目的や各施設と役割について理解し、自らの課題を明確にできる。また、実習へむけて必要な知識、マナー、子どもとの関わり方を身に付け、学生が抱える実習に対する不安や困難を軽減できるようになる。							
授業の概要							
<ul style="list-style-type: none"> ・テキストを使用しながら、実習に必要な知識、マナー、子どもや保育者との関わり方、トラブルが起きた時の対策など具体的に学び、実習で活かせるようにする。また、実際に実習で役立つ教材などを製作する。 ・テーマに沿っての自分の考えや不安をグループやクラスで話し合う中で気持ちを共有する。また、不安をそのままにせず解決策を考えたり提示したりすることで自信を持って実習に臨めるようにする。 							
成績評価の方法							
学習意欲 (授業態度・グループワークでの取り組みや発表)、課題 (保育に関する実技課題・実習課題・保育漢字テスト) を総合評価したうえで決定する。					課題	50%	
					学習意欲	50%	
使用テキスト・教材							
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド (同文書院) ・保育の基本用語 ・保育のマナーと言葉 (わかやま社) ・幼稚園・保育所・施設実習ワーク (萌文書林) 							
授業内容・授業計画							
			時間数			時間数	
1.	オリエンテーション 実習とは・実習生とは (自主実習振り返り)		4	12.	保育実習Ⅰを終えて		2
2.	幼稚園・保育所・施設の理解		4	13.	教育実習①に向けて		2
3.	保育者に望まれる資質		2	14.	指導計画の立て方②		6
4.	実習生と子どもとのかかわり		2	15.	実習直前準備		4
5.	保育者や職員とのかかわり		2	16.	教育実習①を終えて		2
6.	子どもの園生活		2	17.	まとめ		4
7.	指導計画のたてかた①		6				
8.	実習日誌の書き方		6				
9.	実習課題の立て方		2				
10.	実習直前準備・保育実習Ⅰに向けて		6				
11.	実習生として守るべきこと		4				
その他				関連科目			
※单元ごと小レポートや漢字テストを実施する				<ul style="list-style-type: none"> ・実習指導ⅠS ・実習指導ⅢS 			

シラバス (授業概要)				年度		
				2020年度		
				科目コード		
				H-K47		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
制作演習 I			講義・演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	30	2	深澤 みほ	
授業の目的・到達目標						
工作する上で必要な基礎技術を学び、保育・教育分野での役立つ教材などの制作を行えるようになる。						
授業の概要						
保育・教育分野でよく使う道具の選定と使い方。また、幼児への指導の仕方を学ぶ。実習で役立つ教材などの制作や校舎内のデコレーション、教室内のポスター作成を行う。						
成績評価の方法						
通常授業での積極性や理解度などを学習意欲として評価。制作物の完成度を示す出来栄を課題として評価する。					課題 70% 学習意欲 30%	
使用テキスト・教材						
教科書なし、授業ごとにプリント配布						
授業内容・授業計画						
1. 刺繍 保育現場でよく使う道具について はさみ・カッターの使い方・手入れの仕方			時間数 2	5. 実習に役立つ教材 名札・クリアファイルシアター・マイク・人形		時間数 8
2. はさみの練習5つのステップ はさみを使った制作物 紋切り			2	6. マジック マジックシアター (各自オリジナル) 制作物発表会		4 2
3. カッターの練習5つのステップ カッターを使った制作物 切り絵・消しゴムハンコ			8			
4. 壁面飾り グループ作業			4			
その他				関連科目		
				実習指導 児童文化・造形表現 (指導法)		

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				H-K48	
授業科目名			授業形態		学科・コース
制作演習Ⅱ			演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必須	30	1	深澤 みほ
授業の目的・到達目標					
保育・教育実習で役立つ教材が5つ以上完成する。					
授業の概要					
子どもの発育状態を考え、各自の実習で役立つ教材を作成し、ねらいや使い方について考え実践する。					
成績評価の方法					
通常授業での積極性や理解度を学習意欲として評価。				期末試験	30%
制作物の完成度を示す出来栄を課題として評価。				課題	40%
期末試験では、各自が設定した指導案をもとに制作物を制作し提出する。				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
なし 授業ごとにプリント配布。					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 刺繍機 道具の確認・使い方の復習			2		
2. 紙の使い方・制作			4		
3. 紙皿の制作			4		
4. 光のおもちゃ			4		
5. 風のおもちゃ			4		
6. 水のおもちゃ			4		
7. 課題制作 指導案の制作 教材制作			8		
その他				関連科目	
				制作演習Ⅰ・Ⅲ	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	H-K50
授業科目名			授業形態		学科・コース
絵本教育 I			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	大村 茉莉恵
授業の目的・到達目標					
<p>絵本の特性について理解できる。</p> <p>絵本の子どもと絵本の関係や役割について説明できる。</p> <p>様々な絵本を知り子どもの年齢に応じた絵本の選定や読み聞かせができる。</p>					
授業の概要					
<p>多くの絵本に触れながら、まずは学生自身が絵本を楽しむことから始める。</p> <p>保育現場で絵本がどのように活用され、子ども達に親しまれているか事例を交えながら話していく。また、一年次に「児童文化」の授業で触れた子どもと絵本の関係、絵本の特性についても更に詳しく学ぶ。</p>					
成績評価の方法					
課題 (授業で学んだ内容のレポート)、学習意欲 (授業態度や発表等の積極性) を総合して評価する。					課題 50% 学習意欲 50%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・保育をゆたかに絵本でコミュニケーション (かもがわ出版 村中李衣著) ・本・こども・絵本 (文春文庫 中川李枝子)・このほんば〜った! (静岡市立図書館) 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	オリエンテーション	2	7.	発達に応じた絵本の選び方1	4
2.	絵本と親しもう 図書館見学	4	6-1	赤ちゃん絵本、ブックスタートとは	2
3.	児童文化財「絵本」を振り返る		6-2	幼児向き絵本	2
3-1	子どもにとっての絵本	2	8.	絵本の読み方実践	4
3-2	読み聞かせとは (絵本を読むということ)	2			
4.	絵本と子ども (家庭、保育の現場で)	2			
5.	絵本と子どもの発達	2			
6.	様々な絵本	4			
その他			関連科目		
<ul style="list-style-type: none"> ・授業毎小レポートを提出する ・グループディスカッションや発表を多く取り入れる 			絵本教育 II		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	H-K53
授業科目名		授業形態		学科・コース	
交流ゼミ I		講義・演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	2	深澤 みほ
授業の目的・到達目標					
校内・校外の講師や同じ目的を持つ学生・実習生と交流を持つことで、今後の進路選択に役立てる。 普通の授業では学べない特別講座を通じて、実践力を身につけることができる。					
授業の概要					
保育特別講座を全4回に渡って開催し、保育・教育分野への興味を抱き、自ら進んで制作などの技術を学ぶ。 また、ボランティアや実習時に使える教材や遊びなどを多く学習する。					
成績評価の方法					
保育特別講座後のレポート提出(課題)によって評価する。 また、実習報告会での報告書や発表の姿勢(学習意欲)なども評価の対象とする。				課題	50%
				学習意欲	50%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 保育 WELCOME パーティー (4月)			4	9. 園見学(9月)	
2. 保育特別講座① (5月) 「絵本講座」			2	10. 保育特別講座⑤ (9月) 「ふくろうず」	
3. 保育特別講座② (6月)			2	11. 児童養護施設見学会(2月)	
4. 「絵本講座 (選び方・読み方)」					
5. 保育特別講座③ (6月)			2		
6. 「園長講座」					
7. 保育特別講座④ 「ゆきちゃんのリトミック講座」			4		
8. 保育実習報告会 「2年生による報告会」			4		
その他			関連科目		
			交流ゼミ II・III		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	H-K54
授業科目名		授業形態		学科・コース	
交流ゼミⅡ		講義・演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	2	深澤 みほ
授業の目的・到達目標					
校内・校外の講師や同じ目的を持つ学生・実習生と交流を持つことで、今後の進路選択に役立てる。 普通の授業では学べない特別講座を通じて、実践力を身につけることができる。					
授業の概要					
保育特別講座を全4回に渡って開催し、保育・教育分野へのモチベーションを高める。 また、実習時に使える教材や遊びなどを多く学習する。					
成績評価の方法					
保育特別講座後のレポート提出(課題)によって評価する。 また、実習報告会での報告書や発表の姿勢(学習意欲)なども評価の対象とする。				課題	50%
				学習意欲	50%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 保育特別講座①(5月) 「絵本講座： 赤ちゃんが初めて出会う絵本 図書館の関わりと役割」		2	7. ボランティア (子育て支援センター)		4
2. 保育特別講座②(5月) 「絵本講座： 全ての子供たちに絵本を」		2	8. ボランティア報告会		4
3. 実習報告会		4	9. クリスマスパティー		2
4. 保育特別講座③(6月) 「ゆきちゃんのリトミック講座」		4			
5. 保育特別講座④(9月) 「ふくろうず」		4			
6. 実習報告会		4			
その他		関連科目			
		交流ゼミⅠ・Ⅱ			

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				H-S01	
授業科目名			授業形態		学科・コース
英会話 IS			講義		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	20	1	紅林 江身子
授業の目的・到達目標					
近年、ネイティブ講師を交え簡単な英語表現を経験させる園などが増えつつある中で、そのことを念頭におきつつ、保育士の立ち位置や役割を踏まえ、保育士各々の英語力アップを図る。					
授業の概要					
主に保育のための基礎英語力をつける。 英語の歌やアクティビティを通じ、講師や子供の立場を経験し、他国の文化を学び知識を増やす。 また異文化や英語でのコミュニケーションを楽しむ。					
成績評価の方法					
期末試験（文法、フレーズ、単語など）による評価。 学習意欲の評価として <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力での評価。 (日本語でも自分の意見や考えアイデアなどを出せる。他の生徒とシェアできる) ・英語でのコミュニケーション能力での評価。 (拙い英語でも、相手に伝えようとする姿勢や、聴こうとする力) ・授業態度や、英語学習への意欲や積極性への評価 を加味する					期末試験 50% 課題 25% 学習意欲 25%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・ Happy English for childcare (KINSEIDO) ・ 中学3年分をたった7日で総復習 (学研プラス) 					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1.テキスト Happy English for childcare より Unit1-15 まで			6		
2.歌やアクティビティ			4		
3.試験			6		
中学英語 保育の為の基礎英語 レポート			4		
その他				関連科目	
				英会話 I	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	H-S02
授業科目名		授業形態		学科・コース	
生涯スポーツS		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	保育者(経験10年超)
授業の目的・到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツの意義や目的を理解し、スポーツの在り方について学びを深める。 ・「スポーツ鬼ごっこ」や「ゆるスポーツ」を通して、コミュニケーション力の大切さを体体験する。 ・グループワークを取り入れて「スポーツの楽しさとは何か」を追求する。 					
授業の概要					
<p>生涯スポーツにおける最大のキーワードでもある「いつでも、どこでも、誰でも」を、ソフトバレー、アルティメット、ゆるスポーツ、スポーツ鬼ごっこ等を軸に実践しながら学びを深めていく。</p> <p>また、グループワークを通して楽しみ方の工夫やアレンジ力、コミュニケーション力を豊かにし、様々な状況や環境に対して、臨機応変に活動を展開していく力を養う。</p>					
成績評価の方法					
<p>授業全体を通して学んだことや生涯スポーツとの向き合い方等をレポートとしてまとめる。</p> <p>また、演習の積極性や態度を重点的に評価し、個々のコミュニケーション力も評価の対象とする。</p>				学習意欲・態度	60%
				課題レポート	40%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツで使う用具 ・スポーツかるた 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション・アイスブレイク	2	5. 生涯スポーツ実践(アルティメット)			
2. 生涯スポーツの意義と役割	2	①ルールと楽しみ方の理解	2		2
3. 生涯スポーツ実践(ソフトバレー)		②試合形式で楽しむ	2		2
①ルールと楽しみ方の理解	1	6. 生涯スポーツ実践			
②対象年齢による楽しみ方の工夫(グループワーク)	2	(スポーツ鬼ごっこ)			
③試合形式で楽しむ	3	①鬼ごっこの文化と歴史	1		1
4. 生涯スポーツ実践(ゆるスポーツ)		②様々な鬼ごっこを体験する	2		2
①ゆるスポーツの意義と楽しみ方	2	③オリジナル鬼ごっこ制作	3		3
②スポーツかるた	1	④スポーツ鬼ごっこから学ぶコミュニケーション力	1		1
③オリジナルスポーツかるた制作(グループワーク)	3	⑤試合形式で楽しむ	2		2
		7. まとめ・レポート作成	1		1
その他		関連科目			
		健康科学			

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				H-S03	
授業科目名			授業形態		学科・コース
情報処理入門 IS			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	20	1	深澤 みほ
授業の目的・到達目標					
保育・教育の分野でICTのスムーズな活用を行うために、コンピュータのデータ表現、ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク、セキュリティーについて理解する					
授業の概要					
情報処理入門 I で学んだことを基礎に、ICTの今後の活用について学ぶ。 また、活用の方向性をグループで話し合い、新しいアプリケーションなどを試してみる。					
成績評価の方法					
授業内での課題と学習意欲を総合的に評価する。					課題 70%
					学習意欲 30%
使用テキスト・教材					
情報処理入門					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1 ネットワーク		2	6 SNS の活用		4
1-1 ネットワークとは			6-1 幼稚園・保育所での活用方法		
1-2 インターネットの仕組み			6-2 事例検索・まとめ		
2 ネットワークの脅威		2	6-3 発表		
2-1 ネットワーク犯罪			7 今後の展開		4
2-2 コンピュータウイルス			7-1 考察 (論文提出)		
3 情報セキュリティー		2			
3-1 情報セキュリティー対策					
4 ネットワーク上の取引		4			
4-1 取引方法					
4-2 仮想通貨					
5 IT 社会の問題		2			
5-1 ネットワーク依存症					
5-2 健全な成長への影響					
その他			関連科目		
			情報リテラシー I・II・III 情報処理入門 I		

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				H-S04	
授業科目名			授業形態		学科・コース
幼児と音楽表現S			講義・演習 アクティブラーニング		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	20	1	竹中 紀江
授業の目的・到達目標					
<p>幼児教育に携わる保育者の音楽の技術の習得や、資質の向上ができる。</p> <p>アンサンブルによって個々の能力を高め合い音楽の楽しさを知ることができる。</p>					
授業の概要					
<p>日頃の練習の成果を発表する場を設け、お互いの演奏を聴き合う。</p> <p>発声法の基本と読譜力をつけ、子どもの歌のレパートリーを増やす。歌唱に伴う移調法を学ぶ。楽器演奏に必要な知識や技術を学び、アンサンブルの楽しさを学ぶ。</p>					
成績評価の方法					
授業への積極的参加				発表	60%
授業内での発表および課題				課題	20%
以上を総合的に評価する				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
<p>教科書：「音楽(ピアノ教本)」「音楽(声楽教本)」</p> <p>必要に応じて楽譜プリント配布</p>					
授業内容・授業計画					
1、ピアノ発表会 発表会にて日頃の練習の成果を発表し、お互いの演奏を聴き合い、感想を述べる		時間数 4	4、幼児音楽のいろいろな歌 実習に合わせた曲を選曲。 個々のレベルに合う弾き歌い		時間数 2
2、ミュージックベルアンサンブル 身近な曲から、ベルに相応しい曲を選曲、英米音名を学び、音程の感覚を養う。		4	5、合唱・器楽アンサンブル 楽器の特徴を捉え、リズム譜を理解する。自分のパートに責任を持つ。		4
3、歌唱に伴う移調法 歌いやすい調性を理解する。また自分で楽譜を書きあげ、見やすい楽譜を作り上げる。		4	6、アンサンブルの発表 まとめ		2
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である			音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 音楽表現(指導法)S 音楽表現技術S		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度		
				科目コード	H-S05		
授業科目名		授業形態		学科・コース			
音楽表現技術S		講義・実技		こども保育科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	必修	20	1	竹中 紀江		
授業の目的・到達目標							
<p>幼児教育に携わる保育者のさらなる音楽の技術の習得や、資質の向上ができる。 アンサンブルによって個々の能力を高め合い、音楽表現の強化ができる。</p>							
授業の概要							
<p>日頃の練習の成果を発表する場を設け、お互いの演奏を聴き合う。 子どもの歌のレパートリーを増やし、歌唱に伴うピアノ伴奏の編曲と移調法を学ぶ。アンサンブルの楽しさを感じながら、楽器演奏に必要な知識や技術のさらなる習得と、合唱における発声法を学び、音楽の表現方法を学ぶ。</p>							
授業への積極的参加 授業内での発表および課題 以上を総合的に評価する				発表	60%		
				課題	20%		
				学習意欲	20%		
教科書：「音楽(ピアノ教本)」「音楽(声楽教本)」 必要に応じて楽譜プリント配布							
授業内容・授業計画							
1、ピアノ発表会 発表会にて日頃の練習の成果を発表し、お互いの演奏を聴き合い、感想を述べる		時間数	4	3、幼児音楽のいろいろな歌 実習に合わせた曲を選曲。 個々のレベルに合う弾き歌い		時間数	4
2、幼児音楽のピアノ伴奏編曲と移調 自分のレベルに合うピアノ伴奏を編曲し楽譜を書きあげ、実践する。		時間数	4	4、合唱・器楽アンサンブル 自分のパートに責任を持ち、速度や強弱などの表現方法を学ぶ。		時間数	4
				6、アンサンブルの発表 まとめ		時間数	4
その他			関連科目				
			音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 音楽表現(指導法) 幼児と音楽表現S				

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2020年度	
				科目コード	
				H-S06	
授業科目名			授業形態		学科・コース
幼児と造形表現S			講義・実技		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	20	1	戸塚 恵
授業の目的・到達目標					
<p>様々な素材や表現方法を通して自己を表現する楽しさを知ることが出来る。 表現者として主体的に取り組むことで、幼児の造形表現への理解を深め、豊かな創造性を育むことができる。</p>					
授業の概要					
<p>実技課題として美術表現技法の技法体験から表現の特徴を学び、子どもとの制作活動に役立つ様々な素材や表現方法の基礎知識を習得する。応用として技法を作品として表現し、創意工夫して制作する。制作発表を通してお互いに学びあい、自分の表現の幅を広げる。</p>					
成績評価の方法					
課題・提出物				課題	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
<p>スパッタリング用網とブラシ、マーブリング用墨、バット、スタンプ用ガーゼ・綿・輪ゴム・割りばし、スケッチブック、アクリルガッシュ、サクラクレパス、ストロー、糊、セロハンテープ、両面テープ等</p>					
授業内容・授業計画					
1. 幼児の表現の発達について復習			時間数	13.作品鑑賞発表会とまとめ	
2. デカルコマニー(合わせ絵)			2	2	
3. スタンプ(たたき絵)			2		
4. スクラッチ					
5. ドリッピング(ふき絵)			2		
6. マーブリング					
7. スパッタリング			2		
8. フロッタージュ			2		
9. オリジナル作品制作			2		
10. 立体制作(飛ぶ出すカード)			2		
11. 立体制作(工作)			2		
12. 立体制作(紙粘土)			2		
その他				関連科目	
				造形表現(指導法)	

シラバス (授業概要)				年度		
				2020年度		
				科目コード		
				H-S07		
授業科目名			授業形態		学科・コース	
教育心理学S			講義・演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	20	1	磯部 隆	
授業の目的・到達目標						
・保育者としての子どもの動機付け、学び、記憶、思考、また、パーソナリティ（人格、及び人格形成）の理解を深め、保育活動に活かせるようになるために学んでもらいます。保育や教育に活かす心理学の学びを深めていただきます。						
授業の概要						
・子どもの学習、学習の基本原則、記憶、記憶のしかた、思考、知能、学ぶ意欲、遊び、教育評価及びパーソナリティのスキルや知識を深められるよう基本的なレクチャーと、演習を織り込み講義していきます。						
成績評価の方法						
試験は、授業で取り上げたことを中心に基本的なことが理解されているかを問います。また、課題については、一定の授業を終えてのミニレポートを提出してもらいます。加えて、各時間の授業への取り組みの姿勢や態度を問います。なお、ミニレポートは、まとめる力や表現の仕方をレッスンすることを含みます。					期末試験 60% 課題 20% 学習意欲 20%	
使用テキスト・教材						
・「よりよく生きるための心理学」 磯部 隆著 中部印刷						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. オリエンテーション 学習の仕方、ミニレポートのまとめ方			1	8. 子どもの遊び		2
2. 脳の働きと動機付け			2	9. 学習と思考		2
3. 脳の働きと願望と行動と認知			2	10. 知能と教育評価		2
4. 学習心理			2	11. パーソナリティ		2
5. 学習の原理			2	類型論、特性論、分析理論ほか		
6. 記憶			2			
7. 記憶の原理			1			
その他				関連科目		
				幼児の心理		

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2020年度	
				科目コード	
				H-S08	
授業科目名			授業形態		学科・コース
健康 (指導法) S			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	20	1	田村 都弥
授業の目的・目標					
子どもの身体発達の特徴を知り、子どもが進んで身体を使ったあそびを楽しむような保育の指導と援助が理解できる。					
授業の概要					
学生自身がいつの間にか楽しんで身体を動かしていたという体験をする中で、集団や個、安全性や興味づけの方法など子どもたちが、安全で楽しくあそぶ方法を探っていく。健康で安全に生活することの意識づけについて考察する。					
成績評価の方法					
通常授業での積極性や協力的な学びの姿 レポート等での理解度 を総合的に評価する				課題	50%
				学習意欲	50%
使用テキスト・教材					
教科書なし。適時プリント配布 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領 解説					
授業内容・授業計画					
1. オリエンテーション 健康 (指導法) S の内容に興味を持ち、 授業内容、学習方法を知る。			時間数	2	
2. スキャモンの発育発達極性をもとに、 幼児の身体の育ちの特性を学ぶ			時間数	4	
3. 身体を使ったあそびの実際 「徒手運動」「ゲームあそび」「ボールあ そび」「日用品を使ったあそび」			時間数	6	
4. パラバルーンを通して子どもの動きを 知る			時間数	2	
5. 身体を動かす遊びの実践と考察			時間数	2	
6. 身体を動かす遊び ファシリテー ター体験			時間数	2	
7. イメージ遊びと振り返り			時間数	2	
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2020年度	
				科目コード	
				H-S09	
授業科目名			授業形態		学科・コース
人間関係 (指導法) S			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	20	1	田村 都弥
授業の目的・目標					
人との豊かな「かかわり」を育てる保育者としての役割と視点という側面から、実践的課題に触れ、保育の指導能力を育成する。					
授業の概要					
保育者自身が実際に様々な経験をする中で、「面白い」「なんでだろう」「なるほど」を体験し、子どもたちの姿を思い浮かべながら、実際の援助を考える。					
成績評価の方法					
通常授業での積極性や協力的な学びの姿 レポート等での理解度 を総合的に評価する				課題	50%
				学習意欲	50%
使用テキスト・教材					
教科書なし。適時プリント配布 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領 解説					
授業内容・授業計画					
1. オリエンテーション 人間関係 (指導法) S の内容に興味を持ち、授業内容、学習方法を知る。			時間数 2	時間数	
2. 事例研究・模擬保育・グループディスカッション 「保育者とのかかわり」 「あそびの発達過程と人とのかかわり」 「あそびと仲間」 「なかまづくり」 「道徳性と規範意識」			14		
3. まとめ・レポート			4		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	H-S10
授業科目名		授業形態		学科・コース	
幼児と健康S		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必須	20	1	近畿大学 九州短期大学講師
授業の目的・到達目標					
<p>運動遊びのもつ教育的意義について説明ができる 各種の運動遊びを素材とした短期の指導計画を作成することが出来る 運動遊びの「ねらい」を実現するために必要な効果的な指導技術を習得する</p>					
授業の概要					
<p>グループワークを中心とした指導計画の作成を通して運動遊びに関する実践的指導力の向上を図る。また、乳児期や幼児期の運動や健康に関する理論学習を通じて就学前の体育の実践課題についても検討する。</p>					
成績評価の方法					
課題・学習意欲を総合的に評価する。				課題	50%
				学習意欲	50%
使用テキスト・教材					
テキスト：なし					
授業内容・授業計画					
		時間数		時間数	
乳児と幼児の運動発達と健康		2	運動遊びの指導計画のテーマ検討	2	
現代社会における運動遊びと健康の意義		2	指導計画のテーマについての情報収集	4	
運動遊びの指導計画の作成		2	発表	2	
幼児体操についての情報収集		2	振り返り	2	
発表		2			
その他2			関連科目		

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				H-S11	
授業科目名			授業形態		学科・コース
造形表現 (指導法) S			講義・実技		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	20	1	戸塚 恵
授業の目的・到達目標					
制作活動を通して、幼児教育の中で、特に行事の準備などでよく使う道具と材料の取り扱いを習得する。素材や道具の特性を学ぶ。道具の正しく安全な使い方を習得する。チーム活動における効率的な話し合いと協力ができるようファシリテーション方式のワークショップを通して学ぶ。					
授業の概要					
創作活動を通して、造形表現の可能性を考えながら楽しむ。グループ活動を通して、複数担任制の中で協力して幼児の指導に当たれるよう、話し合いの方法・アイディアの出し方を学びながら、作品制作を実施する。チームの中でお互いの能力を補い合いながらより良いものを制作する。					
成績評価の方法					
制作課題の完成度。話し合いでの協力度、制作活動中での協力姿勢・貢献度・実技技術。				課題	80%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
大型工作用耐水絵具、段ボール用大型カッター、ステンレス 60センチ定規、接着剤 (マルチボンドやテープ類)、段ボール、工作用の素材廃品 (容器類・箱・包装紙など)					
授業内容・授業計画					
1. 段ボールハウスを制作し、秘密基地を作ろう！			時間数	⑥ 制作物の発表プレゼン	
① 制作概要			2		
② チームに分かれて話し合い制作計画・設計					
③ 制作手順と分担			2		
④ 材料確認と段ボールハウス制作					
a. 材料採寸切り出し			4		
b. 組み立て塗装			4		
c. 装飾			2		
⑤ 秘密基地の小物づくり			4		
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)				年度	
				2020年度	
				科目コード	
				H-S12	
授業科目名			授業形態		学科・コース
音楽表現(指導法)S			講義・演習 アクティブラーニング		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	20	1	竹中 紀江
授業の目的・到達目標					
人の心を動かし、体を動かす音楽を自己表現し、保育者に必要な柔軟性に富んだ発想力・表現力を身に付けることができる。					
授業の概要					
言葉だけでは伝わりにくいのが、音楽を加えることによって、伝えやすく印象に残りやすい、その表現方法を学ぶ。子どもたちが楽しく覚えて歌うために「うた紙芝居」を使って歌の指導することを保育現場での一つの手段として学ぶ。体の動きをつけたボディーパーカッションでリズム感を養う。幼児音楽が子供に果たす役割を理解し、リズムと言葉の面白さを感じながら自然な動きを用いて、表現する事を学ぶ。					
成績評価の方法					
授業への積極的参加				発表	60%
授業内での発表及び課題での評価				課題	20%
以上を総合的に評価する				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
教科書：「音楽(ピアノ教本)」「音楽(声楽教本)」 必要に応じて楽譜プリント配布					
授業内容・授業計画					
1、うた紙芝居の制作 ストーリー性のある幼児音楽を選曲、歌詞をイメージして絵を描き、紙芝居を制作。			時間数 2	3、うた紙芝居の曲のピアノ実践 2	
2、うた紙芝居を実践 導入：紙芝居のようにお話ししたり歌ったりして歌の内容を把握、どんな歌なのかイメージする 指導：まずはピアノ伴奏なしで子供たちと一緒に歌う。紙芝居によって長い歌詞を理解しやすくする。 発展：子どもたち自身が紙芝居を制作し、より興味を持たせる。			時間数 4	4、うた紙芝居の発表 2 5、ボディーパーカッション 2 6、自然な動きを用いてリズムと言葉の面白さのある幼児音楽 4 7、広がる音楽表現 4	
その他				関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である				音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 幼児と音楽表現S 音楽表現技術S	

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度		
				科目コード	H-S13		
授業科目名		授業形態		学科・コース			
環境 (指導法) S		講義・演習		こども保育科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	20	1	田村 都弥		
授業の目的・目標							
自然体験や生活体験の中で出会う身近なものを使って、子どもが興味を持って関わりを深めていく保育の指導能力を育成する。							
授業の概要							
学生自身が実際に授業の中で、「不思議」「面白い」「なんでだろう」「なるほど」を体験し、子どもたちの姿を思い浮かべながら、実際の保育計画や援助を考える。							
成績評価の方法							
通常授業での積極性や協力的な学びの姿 レポート等での理解度 を総合的に評価する				課題	50%		
				学習意欲	50%		
使用テキスト・教材							
教科書なし。適時プリント配布 幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領 解説							
授業内容・授業計画							
1. オリエンテーション 環境 (指導法) S の内容に興味を持ち、 授業内容、学習方法を知る。		時間数	2	5. 子どもが不思議に思う物・動く物 にかかわる活動		時間数	4
2. 自然物の中でのあそび方 自然物の特性を知る			4	6. 文字、数量、図形への気づき			2
3. 自然物を使ったあそび実践			4	7. まとめ・レポート			2
4. 生活の中で出会う生物について			2				
その他			関連科目				

シラバス (授業概要)				年度			
				2020年度			
				科目コード			
				H-S14			
授業科目名			授業形態		学科・コース		
言葉 (指導法) S			演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	20	1	平野 久美子		
授業の目的・到達目標							
領域「言葉」のねらいや内容について深く考えとともに、ねらい達成のための保育実践の方法を学んでいく。またグループ活動の中では、チームとして協同して保育する楽しさや大切さについて理解できる。							
授業の概要							
絵本や紙芝居の選び方・読み方の演習、言葉を楽しむ音楽遊びの演習、実習で役立つ児童文化財や玩具・教具の製作と発表を行う。							
成績評価の方法							
授業態度 (意欲・積極性)・製作物の完成度・発表態度を総合的に評価する。					授業態度	50%	
					制作物	30%	
					発表	20%	
使用テキスト・教材							
保育所保育指針解説・幼稚園教育要領解説・幼保連携型認定こども園教育保育要領解説・印刷物 子どもが使う楽器 (鈴・タンバリン・トライアングル・カスタネット等) 通常の製作に必要なもの (ハサミ・のり・セロテープ・マジック等)							
授業内容・授業計画							
1. オリエンテーション・・・自己紹介と言葉遊び		時間	2	5. 絵本の世界で遊ぶ・・・よい絵本とそうでない絵本・絵本の読み聞かせの仕方絵本のもつ深い意味		時間	2
2. わらべ歌・手遊び・うた遊び・・・歌詞とリズムと振りで言葉を覚えていく歌のもつメッセージについて調べる		時間	2	6. 絵本製作・・・子どもたちに意図をきちんと伝えるための言葉選び		時間	4
3. 音楽遊び・・・グループ活動		時間	4	7. 発表		時間	2
4. グループ発表・・・反省と再考		時間	2	8. まとめ・・・自分の考えを言葉に表したり、発表できたりしたか (聞く・書く・話す)		時間	2
その他			関連科目				
			幼児と言葉				

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	H-S15
授業科目名		授業形態		学科・コース	
社会的養護 IIS		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必須	20	1	工藤 豪
授業の目的・到達目標					
社会的養護の実践に携わるために必要な知識や援助技術を身につけるとともに、施設養護・家庭養護の実践と方法における特質・課題について理解し、自らの言葉で説明できるようになる。					
授業の概要					
社会的養護 I で学習した基本的知識を踏まえ、社会的養護に求められる専門性や施設養護・家庭養護の実践における特徴、今後の展望および課題などについて考察し、現代社会の社会的養護を担う保育者・養育者としての役割を果たせるよう、多角的視点から理解を深めていく。					
成績評価の方法					
スクーリングの最後にテキスト・ノート・資料等を参照しながら行う確認問題(確認作業)、作業プリントやリアクションペーパーの内容等(課題)、授業時の受講態度やグループ考察時の参加姿勢など(学習意欲)、以上から総合的に評価する。				確認作業	50%
				課題	25%
				学習意欲	25%
使用テキスト・教材					
『MINERVA はじめて学ぶ子どもの福祉 5 社会的養護』(2018、伊藤嘉余子・福田公教編著、ミネルヴァ書房)					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. オリエンテーション・社会的養護に求められる専門性		2	9. 社会的養護の課題ー子どもの親・家族への支援と地域支援機能の拡充ー		2
2. 職員・里親研修の現状と施設運営の課題		2	10. 授業のまとめと確認作業		2
3. 施設養護の実践(1)ー乳児院と児童養護施設ー		2			
4. 施設養護の実践(2)ー児童心理治療施設と児童自立支援施設ー		2			
5. 施設養護の実践(3)ー母子生活支援施設と自立援助ホームー		2			
6. 家庭養護の実践(1)ー里親制度ー		2			
7. 家庭養護の実践(2)ー養子縁組制度ー		2			
8. 社会的養護の展望ーパーマネンシープランニングー		2			
その他		関連科目			
		社会的養護 I			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	H-S16
授業科目名		授業形態		学科・コース	
障がい児保育S		講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	20	1	前田 基子
授業の目的・到達目標					
障がい児保育に関する基本的知識を身につけ、障がい児の特徴を踏まえた保育のポイントや障がい児保育における保育者の意図について考えることが出来るようになる。					
授業の概要					
障がいの定義や捉え方、障がい児保育の目的や意義に関する理解を踏まえて、分離保育と統合保育の関係性について考察する。 さらに、障がい児保育・療育の歴史と展開を把握するとともに、集団援助の場面における保育者の意図について理解を深める。					
成績評価の方法					
期末試験、課題(課題に対する考察や記述の内容、課題に対する成果)、学習意欲(受講態度及び取り組み姿勢)を総合的に評価する。				期末試験	25%
				課題	50%
				学習意欲	25%
使用テキスト・教材					
よくわかる障害児保育 (ミネルヴァ書房)					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 障がいの定義と捉え方			2		
2. 障がい児保育の目的と意義			2		
3. 障がい児保育・療育の歴史と展開			2		
4. 分離保育と統合保育			2		
5. 知的障がいと自閉症スペクトラム障害の特徴と保育現場での支援			2		
6. 注意欠陥多動性障がいにおける特徴と保育現場での支援			2		
7. 学習障がいにおける特徴と保育現場での支援			2		
8. 障がいのある子どもに対する集団援助(保育環境や遊びを通して)			2		
9. 発達支援の技法(感覚統合訓練)			2		
10. 理解到達度確認作業			2		
その他				関連科目	

シラバス (授業概要)			時間数は45分換算		年度	2020年度
					科目コード	H-S17
授業科目名			授業形態		学科・コース	
子どもの食と栄養S			講義・演習		子ども保育科	
履修学年			時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	20	1	末永 美雪	
授業の目的・到達目標						
小児期における心身の発達段階に応じた栄養法、集団給食、食育の重要性を理解できる。						
授業の概要						
講義として基礎知識を学び、それを踏まえて調理実習と食育活動を体験することで、保育者として小児に適切な食事を提供できるよう、各時期の適切な栄養法を理解するとともに調理技能を習得する。また、効果的な食育を理解し実践できるスキルを習得する。						
成績評価の方法						
調理実習及び食育への学習意欲・取り組み状況、実習課題、実習記録等を総合的に評価する					期末試験	50%
					課題	30%
					学習意欲	20%
使用テキスト・教材						
テキスト：二見大介・高野 陽 編著、『子どもの食と栄養』、北大路書店 2017 年版 参考文献：『食品成分表』 女子栄養大学出版部 菅原 園他『発育期の子どもの食生活と栄養』、学建書院						
授業内容・授業計画						
1 日目		時間数	2 日目		時間数	
1 時間目 乳児期の授乳栄養について		2	1 時間目 幼児期の食育について		2	
2 時間目 調乳実習		2	(絵本を使った効果的な食育)			
3 時間目 離乳栄養について		2	2 時間目 幼児食調理実習		2	
4 時間目 離乳食実習		2	(出汁のとり方・食材の選び方)			
5 時間目 離乳食実習		2	3 時間目 幼児食調理実習		2	
			(お弁当・アレルギー対応食)			
			4 時間目 幼児食調理実習		2	
			(お弁当・アレルギー対応食)			
			5 時間目 間食の調理実習		2	
			(水分補給と手作りおやつ)			
その他			関連科目			
			子どもの食と栄養			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	H-S18
授業科目名		授業形態		学科・コース	
子育て支援S		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必須	20	1	保育者(経験10年超)
授業の目的・到達目標					
保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援(保育相談支援)について、その特性と展開を具体的に理解する。					
授業の概要					
保育士の行う子育て支援の特性を理解し、支援の実際や今後の展開を学ぶ。 子育て支援における保育者の役割と職務内容を理解する。 様々な人々との連携した支援方法の基礎を習得する。					
成績評価の方法					
期末試験の結果、演習課題の評価点、学習意欲(授業態度)を総合評価したうえで決定する。実習課題については、要求された機能が実現しており、かつ、決められた期日までに提出することが最低条件である。実習課題が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。					期末試験 50% 課題 30% 学習意欲 20%
使用テキスト・教材					
必要に応じてプリント配布					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1	子育て支援とは	2	6	園内・園外との連携と社会的資源	2
	1.1 授業で学ぶ事柄について			6.1 職員間の連携	
	1.2 子育て支援の制度的基盤			6.2 子育てネットワークの活用	
2	子育て支援の意義	2	7	記録・評価・研修について	2
	2.1 子育て支援が求められる社会的背景		8	様々な子育て支援	4
	2.2 子育て支援において保育所・認定こども園などが果たす役割			8.1 日常会話を活用した子育て支援	
	2.3 子育て支援の独自性			8.2 文書を活用した子育て支援	
3	子育て支援の基本的価値	4		8.3 行事を活用した子育て支援	
4	子育て支援の基本的姿勢	2		8.4 地域子育て支援拠点における支援	
5	子育て支援の基本的技術	2	9	8.5 入所施設における子育て支援	
	5.1 子育て支援のプロセス			8.6 通所施設における子育て支援	
	5.2 子育て支援に役立つコミュニケーション技法			まとめと今後の課題	2
その他		関連科目			
		保育相談支援演習			

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	H-S19
授業科目名		授業形態		学科・コース	
劇あそび (指導法) S		演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	20	1	平野 久美子
授業の目的・到達目標					
保育内容領域「表現」の学習を踏まえ、劇あそびの重要性を学ぶ。グループ演習で楽しさを共有する中で、劇遊びの際の援助の方法や配慮すべき点に気づくことが出来る。					
授業の概要					
保育所保育指針「表現」の学習。現場での劇遊びの実際を知り、グループで劇あそびの演習を楽しむ中で、保育指針改定で強調された「養護と教育が一体となった保育」について考察していく。					
成績評価の方法					
学習態度 (意欲・積極性) 課題 (授業後レポート) を総合的に評価する。				課題	30%
				学習態度	70%
使用テキスト・教材					
保育所保育指針・幼稚園教育要領 印刷物・絵本・小道具・大道具作りに使う教材					
授業内容・授業計画					
1. オリエンテーション・・・保育内容領域「表現」の学習		時間数 2	3. グループ活動・・・個々の工夫を取り入れていく。		時間数 6
2. グループ活動・・・仲間とコミュニケーションをとって、劇を作ってみよう。 ・グループ決め ・題材決め (子どもたちが楽しめる) ・シナリオ決め ・配役決め ・中間発表 (ロールプレイ) ・小道具作り		8	4. 劇発表・・・お互いの劇を見合っ て感想を発表し、さらによくなる 点を話し合う。		2
			5. 授業後レポート ・養護と教育が一体となった保育 とは ・表現遊びの援助と配慮		2
その他			関連科目		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	H-S20
授業科目名			授業形態		学科・コース
教育実習事前事後指導S			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	10	1	田村 都弥
授業の目的・到達目標					
教育実習に向けた「事前」の心構えや準備に関する基礎知識が理解できる。 観察記録の作成、指導計画の立案の方法を理解できる。					
授業の概要					
幼稚園二種免許状取得に向けた教育実習が円滑かつ有意義に行われるよう、以下のような教育実習に関わった基礎的な理解の知識を深めていく。①幼児期の発達段階②幼稚園の機能と役割③幼稚園教諭の職務と役割④観察記録の作成方法⑤指導計画の立案補法。					
成績評価の方法					
課題（事前レポート、事後レポート含む）の評価点、学習意欲を総合評価して決定する。					課題 50% 学習意欲 50%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・知りたいときにすぐわかる 幼稚園・保育園・児童福祉施設等 実習ガイド (同文書院) ・幼稚園実習事前指導 (近畿大学九州短期大学) ・幼稚園教育要領解説 					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 幼稚園の機能と役割、法的根拠、幼稚園教育を取り巻く状況			2		
2. 幼稚園教員の職務と役割 幼児期の発達課題と生活課題			2		
3. 実習記録作成について 実習日誌の書き方 指導案の書き方			6		
その他			関連科目		
			教育実習①S 教育実習②S		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	H-S21
授業科目名			授業形態	学科・コース	
保育内容総論S			演習	こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	20	1	保育者(経験10年超)
授業の目的・到達目標					
<p>①保育所保育指針における「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「保育内容」の関連を理解する。</p> <p>②子どもの発達特性や発達過程を踏まえて、観察や記録の観点を習得し、保育内容と子ども理解とのかわりについて学ぶ。</p> <p>③保育の多様な展開について具体的に理解する。</p>					
授業の概要					
<p>保育全体を理解するための資料及び具体的な実践事例等から学び合う。主体的な学びによって「子どもの発達や実態に即した保育内容を考え合う」保育内容の基本的な考え方を理解する。また、保育内容をより豊かにするための「テーマ」を考え、相互に発表し合う。</p>					
成績評価の方法					
授業への取り組み、課題の内容や提出方法、学習態度等を考慮し、総合的に判断し評価する。				期末試験	50%
				課題	30%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
<p>必要に応じてプリント配布</p> <p>「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」</p>					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
①ガイダンス・授業内容の説明と予定		2	⑨保育実践～おにぎりプログラムから		2
②「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に基づいて保育全体の理解		2	⑩まとめ		2
③保育内容の理解		2	～保育の課題		
④保育内容の展開～環境を通して		2			
⑤保育内容の展開～行事		2			
⑥子どもの理解と計画～記録と計画		2			
⑦子どもの育ちを支えるための連携～家庭・小学校との接続		2			
⑧保育実践～おにぎりプログラムから		2			
その他			関連科目		
講義形式だが、授業内におけるグループ討議には積極的に参加をしてほしい。					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	H-S22
授業科目名			授業形態		学科・コース
教育実習①S			実習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	大村 茉李恵
授業の目的・到達目標					
<p>幼稚園における教育内容や幼稚園の機能について、体験を通して理解できる。</p> <p>幼稚園教諭の職務および役割について、体験を通して理解できる。</p> <p>幼稚園での1日の教育内容を振り返り、観察記録を作成することができる。</p>					
授業の概要					
<p>専門教育科目で獲得した幼児教育に対する知識、技能を活用しながら、実践的指導力を体験的にまた総合的に高めていくことを目標とする。この目標を達成するために1週間の観察実習・参加実習・部分実習を主とする実習を行うこととする。</p>					
成績評価の方法					
<p>1.実習日誌の記述内容①「観察記録」の記述内容、②「本日の実習についての反省・感想 今後の課題など」の記述内容</p> <p>2.実習園による評価</p> <p>3.実習後の事後レポートなどの提出物</p>				実習日誌の記述内容	50%
				実習園による評価	30%
				課題	20%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
<p>1.各園実習</p> <p>以下のような観察視点から幼稚園においてどのような活動が、どのような方法で行われているかを把握することに努める。</p> <p>①幼稚園における1日の生活・活動の流れと生活・活動内容の概要</p> <p>②遊び生活場面での園児の活動</p>			時間数	30	③園児の行動に対する幼稚園教諭の対応
			時間数		
その他			関連科目		
<p>※参加実習では、指導教員の指導と援助を受けながら、教育活動や園務に積極的に従事する。</p>			<p>教育実習②S</p> <p>教育実習事前事後指導S</p>		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度	
				科目コード	H-S25	
授業科目名			授業形態		学科・コース	
児童文化S			演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	20	1	大村 茉李恵	
授業の目的・到達目標						
パネルシアターの意義や目的など専門的な知識を習得し、子どもの年齢や環境に応じてパネルシアターの選定ができる。オリジナルパネルシアターを作成し、子ども達の前で演じることができる。						
授業の概要						
児童文化財であるパネルシアターの演じ方、基礎的な技能について習得し、グループでパネルシアターを製作する。完成したパネルシアターをクラス内で発表した後、実際に子ども達の前で演じる。						
成績評価の方法						
学習意欲や授業内での発表（手遊び、絵本、紙芝居 等）課題レポートを総合評価したうえで決定する。					発表 50% 学習意欲 50%	
使用テキスト・教材						
児童文化（近畿大学九州短期大学発行） 必要な資料をプリント						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. オリエンテーション			2	4. 反省点を踏まえ修正・練習		4
2. オリジナルパネルシアター作成 (グループワーク)				5. 第二回発表（本番） 子ども・保護者の前で発表		2
2-1 「児童文化」での経過発表を踏まえ修正			4	6. まとめ		2
2-2 練習			4			
3. 第一回発表（リハーサル） クラス内で発表・批評			2			
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である				・児童文化		

シラバス (授業概要)					年度	2020年度
時間数は45分換算					科目コード	H-S26
授業科目名			授業形態		学科・コース	
乳児保育ⅡS			講義・演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	20	2	大村 茉李恵	
授業の目的・到達目標						
0.1.2歳児の発育と発達の特徴について理解し、保育者として必要な知識と技能の基礎を身につける。また、子育てを担う保護者を支援する保育者としての役割を自覚し、支援を行う上での知識や技能を習得する。						
授業の概要						
乳児期は人格の基礎が形成される重要な時期である。0.1.2歳児の発達に合わせた健全な育ちを保障するために、保育者として必要な関わり方や援助の仕方を具体的に学んでいく。また、乳児保育の課題と現状を理解し事例、発表、グループ討議を通して乳児保育について考えていく。						
成績評価の方法						
学習意欲（発表含む）、課題（レポート、ワークシート）の評価点を総合評価したうえで決定する。					課題	40%
					学習意欲	60%
使用テキスト・教材						
はじめて学ぶ乳児保育（同文書院） 保育所保育指針・認定こども園教育保育要領						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. オリエンテーション			2			
2. 人生の基礎としての乳児期 ころ・言葉・体の発達			4			
3. 保護者との連携 発達の遅れに向き合う			2			
4. 遊びのアイデアと歌遊び			6			
5. 乳児との触れ合い・保護者に話を聞く			4			
6. まとめ			2			
その他				関連科目		
※授業内でレポート課題とワークシートを実施する。				・乳児保育Ⅰ		

シラバス (授業概要)				年度	
時間数は45分換算				2020年度	
				科目コード	
				H-S28	
授業科目名			授業形態		学科・コース
保育実習 I (保育所) S			実習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	60	2	大村 菜李恵
授業の目的・到達目標					
<p>保育現場で保育を経験することにより、これまで学習してきた理論や技術が、保育の実践と具体的にどのようにつながるか理解することができる。</p> <p>実践を通じて、保育の技術と能力が向上できる。</p> <p>自分なりの保育観や子ども観を深め確率できる。</p>					
授業の概要					
<p>「保育実習」は、保育資格を取得するために児童福祉施設で行う実習である。10日間の実習で、次の内容を体験的に学ぶ。①保育所における1日の流れ②子どもへの理解を深める③保育士の業務内容や理論について学ぶ④保育所等の技術や記録方法について実践的に学ぶ⑤保育士を志すものとして自覚を高める</p>					
成績評価の方法					
実習日誌、事後レポート等の提出物、実習園の評価を総合評価したうえで決定する。				実習日誌の記述内容	50%
				実習園による評価	30%
				課題	20%
使用テキスト・教材					
なし					
授業内容・授業計画					
<p>1. 「保育所実習」では、以下の観点から保育所におけるほいくがどのようになされているかを理解する。</p> <p>①保育所の内容、機能について理解する。 保育所の1日の流れやプログラムの理解等</p> <p>②保育所における子どもの理解。 年齢、月例ごとの子どもの発達とその特徴</p>			時間数 60	<p>③保育所における保育者の保育内容、役割などを理解する</p> <p>④日誌や指導案の書き方を学ぶ</p>	
<p>その他</p> <p>※担当保育者の指導や助言に積極的に保育実習に参加すること。</p> <p>※実務経験のある教員が担当する科目である。</p>			<p>関連科目</p> <p>保育実習 I (施設) S 保育実習 IIS 保育実習事前事後指導 I・IIS</p>		

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算		年度	2020年度
				科目コード	H-S30
授業科目名		授業形態		学科・コース	
保育実習事前事後指導 I (保育所) S		講義・演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	20	1	大村 茉莉恵
授業の目的・到達目標					
<p>保育実習の全体的な枠組みを理解し、実習に挑む心構えができる。</p> <p>指導計画の作成や実習日誌の書き方などに関わる知識と技術を身に着けることができる。</p> <p>実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標が明確にできる。</p>					
授業の概要					
<p>保育実習の全体的な枠組みを理解し、具体的な内容を通して保育実習についての授業を行う。保育所実習前にすべき事柄・指導計画案の作り方・実習記録の作成および、実習後にすべき事柄などを中心に具体的な事例に基づきながら行っていく。</p>					
成績評価の方法					
課題 (事前レポート、事後レポート含む) の評価点、学習意欲を総合的に評価する。				課題	50%
				学習意欲	50%
使用テキスト・教材					
<ul style="list-style-type: none"> ・知りたいときにすぐにわかる 幼稚園・保育園・児童福祉施設等 実習ガイド 同文書院 ・保育実習事前指導 近畿大学九州短期大学 ・保育所保育指針解説 ・実習の記録と指導案 ひかりのくに 					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. 保育所実習の全体の流れと諸注意 子どもの発達と注意点		4			
2. 保育実習の意義・目的・内容について 保育所の1日の流れとデイリープログラムの理解		4			
3. 実習記録作成について 実習日誌の書き方 実習記録作成について		6			
4. 指導計画について 指導計画の書き方		6			
その他		関連科目			
※実務経験のある教員が担当する科目である。		保育実習事前事後指導 I (施設) S 保育実習 IS 保育実習 IIS			

シラバス (授業概要)					年度	2020年度
時間数は45分換算					科目コード	H-S31
授業科目名			授業形態		学科・コース	
保育実習事前事後指導 I (施設) S			講義・演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	20	1	大村 茉李恵	
授業の目的・到達目標						
施設実習の全体的な枠組みを理解し、実習に挑む心構えができる。 指導計画の作成や実習日誌の書き方などに関わる知識と技術を身に付けることができる。 実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標が明確にできる。						
授業の概要						
施設実習の全体的な枠組みを理解し、具体的な内容を通して施設実習についての授業を行う。施設実習前にすべき事柄・実習記録の作成および、実習後にすべき事柄などを中心に具体的な事例に基づきながら行っていく。						
成績評価の方法						
課題 (事前レポート、事後レポート含む) の評価点、学習意欲を総合的に評価する。					課題	50%
					学習意欲	50%
使用テキスト・教材						
<ul style="list-style-type: none"> ・知りたいときにすぐにわかる 幼稚園・保育園・児童福祉施設等 実習ガイド 同文書院 ・保育実習事前指導 近畿大学九州短期大学 ・保育所保育指針 						
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1. 社会福祉施設とは 施設における役割と機能			2			
2. 施設における保育内容と養護 施設実習に関する基本的理解と諸注意 宿泊実習での配慮			4			
3. 施設職員 (保育士) の役割			4			
4. 子どもの虐待			2			
5. 実習記録作成について 実習日誌の書き方			8			
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。				保育実習事前事後指導 I (保育) S 保育実習 I S 保育実習 II S		